

とましん景況レポート No.156

令和5年7月～9月

- 苫小牧信用金庫の第2四半期の活動、とましん景気動向調査概要
- 第140回地域景気動向調査 1
アンケート調査による管内の概況
－ 業況判断指数は、前期比5.4ポイント改善 ▲15.4－
- 特別調査「中小企業の将来を見据えた事業承継について」 8
- 管内主要経済統計 10
- 特集 国内経済・金融情勢 18
- お取引先企業のご紹介 20
苫小牧市 プレイス動物病院 様
むかわ町 自然喰処 灯泉房 様
- 最近の管内のトピックス - 新聞報道より - 21



明るく 元気に このまちを

苫小牧信用金庫

●●● 苫小牧信用金庫の第2四半期の活動 ●●●

- 令和5年7月 ・ 駅前歩こう倶楽部（22日）
 ・ 高石拓実ピアノリサイタル（27日）
- 令和5年8月 ・ とましん景況レポート№155発行（21日）
 ・ 第29回子供ものづくり教室（10日）
 ・ 第31回まち市（地域特産品直売会）（26日）
- 令和5年9月 ・ 苫小牧信用金庫創立75周年記念
 信和会コンサート 松平健・コロッケ エンタメ魂（11日）

苫小牧信用金庫創立75周年記念 信和会コンサート

昭和38年から開始した当金庫の歴史ある行事のひとつで、テレビなどでお馴染みの一流芸能人を招いたコンサートを行っています。

今年度は、新型コロナの影響により4年振りに開催。苫小牧信用金庫創立75周年を記念して、松平健さんとコロッケさんのお二人による、歌あり笑いありのエンターテイメントショーを開催しました。

とましん信和会のご案内 苫小牧信用金庫創立75周年記念



第140回 とましん景気動向調査概要

- 調査期間 令和5年 9月1日～9月7日
- 調査対象期間 令和5年 7月～9月（実績・今期）
 令和5年 10月～12月（予想・次期）
- 調査地域 苫小牧信用金庫の本店及び支店所在地（札幌圏を除く）
- 調査方法 アンケート用紙に基づく面談調査
- 分析方法 指数 D.I. (Diffusion Indexの頭文字) による分析

(件、%)

調査先数	製造業	卸売業	小売業	建設業	運輸業	サービス業	鉱業	不動産業	合計
対象先数	37	25	72	59	20	53	5	11	282
回答数	30	21	58	53	17	43	4	8	234
回答率	81.1	84.0	80.6	89.8	85.0	81.1	80.0	72.7	83.0

第140回地域景気動向調査アンケート結果（令和5年7月～9月期）

《概況》 — 全業種業況判断指数は、前期比改善 ▲15.4 —

1. 令和5年7～9月期の全業種業況判断D.I.は「▲15.4」、前期（令和5年4～6月）に比べて5.4ポイント改善した。業種別にみると、小売業・建設業・鉱業で前期比改善、製造業・卸売業・運輸業・サービス業・不動産業は後退した。地域別では市部は前期比改善、郡部は僅かに後退、千歳地区・白老地区は改善した。
2. 収益面では、前年同期比売上額判断D.I.が「▲3.4」で前期から8.2ポイント改善。前年同期比収益判断D.I.は「▲15.4」で前期から7.0ポイント改善した。また、販売価格D.I.は「24.8」で前期から4.0ポイント下降。仕入価格D.I.も「61.5」で前期から4.1ポイント下降した。人手過不足D.I.は「▲40.6」で前期から1.4ポイント後退した。
3. 令和5年10～12月期（来期）の予想業況判断D.I.は「▲17.5」、今期から2.1ポイント後退の見通しとなった。業種別に見ると、運輸業・サービス業・鉱業・不動産業で改善見通し、製造業・卸売業・小売業・建設業は後退見通しとなった。地域別では、市部・郡部ともに後退見通し、千歳地区・白老地区も共に後退見通しとなった。

業種別業況判断指数（D.I.）の推移

《構成比（%）の差（「良い」-「悪い」）による指数》

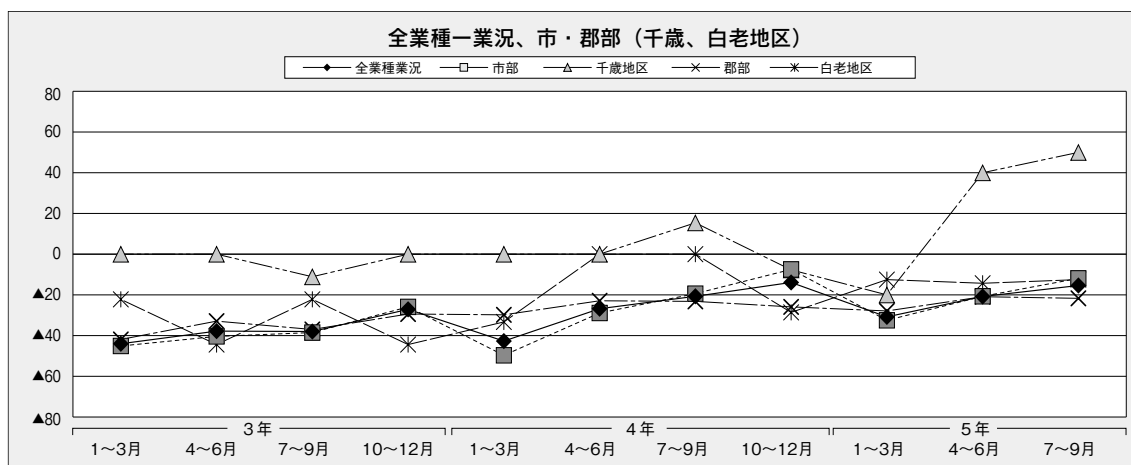
項目	令和3年		令和4年				令和5年			
	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月 予 想
全業種	▲38.0	▲27.1	▲42.7	▲26.8	▲20.7	▲13.9	▲30.8	▲20.8	▲15.4	▲17.5
市部	▲38.5	▲25.9	▲49.7	▲28.9	▲19.4	▲7.5	▲32.5	▲20.7	▲11.9	▲13.2
千歳地区	▲11.1	0.0	0.0	0.0	15.4	▲7.7	▲20.0	40.0	50.0	30.0
郡部	▲37.0	▲29.4	▲29.8	▲22.9	▲23.2	▲25.9	▲27.9	▲20.9	▲21.7	▲25.3
白老地区	▲22.2	▲44.4	▲33.3	0.0	0.0	▲28.6	▲12.5	▲14.3	▲12.5	▲25.0
製造業	▲50.0	▲26.5	▲32.3	▲19.4	▲15.6	▲10.0	▲23.3	0.0	▲3.3	▲23.3
卸売業	▲38.1	▲47.6	▲73.9	▲43.5	▲27.3	▲8.7	▲40.9	0.0	▲9.5	▲19.0
小売業	▲51.9	▲37.5	▲49.2	▲43.6	▲35.2	▲28.3	▲23.7	▲32.3	▲6.9	▲27.6
建設業	▲14.9	▲1.9	▲23.1	▲19.6	▲5.8	1.9	▲37.3	▲33.3	▲17.0	▲18.9
運輸業	▲33.3	▲17.6	▲77.8	▲29.4	▲50.0	▲5.6	▲37.5	▲33.3	▲47.1	▲5.9
サービス業	▲37.0	▲31.9	▲45.5	▲23.8	▲15.6	▲26.7	▲46.7	▲16.3	▲32.6	▲18.6
鉱業	▲100.0	▲40.0	▲20.0	0.0	60.0	20.0	20.0	▲40.0	50.0	100.0
不動産業	▲25.0	▲40.0	0.0	18.2	▲33.3	▲9.1	22.2	22.2	0.0	12.5

*▲はマイナス、少数点第2位四捨五入、以下文中数値、表、グラフすべて同じ。

全業種

— 業況判断指数、前期比5.4ポイント改善 —

回答事業所234件（回答率83.0%）



【全業種の業況判断】

全業種の今期業況判断（P 5 上段の表参照）は、「良い」とする企業20.1%に対して、「悪い」とする企業35.5%でD.I.は「▲15.4」、前期「▲20.8」（令和5年4～6月期）と比較して5.4ポイント改善した。

なお、今期の業況判断D.I.は、前回調査時における今期予想「▲15.6」（5.2ポイントの改善予想）を0.2ポイント上回った。

また、来期（令和5年10～12月）の予想業況判断は、「良い」とする企業14.1%、「悪い」とする企業31.6%でD.I.は「▲17.5」、今期に比べ2.1ポイント後退の見通しとなった。

全業種の業況判断	今期D.I.	前期比		前年同期比		来期予想業況判断D.I.	
全業種（234社）	▲ 15.4	5.4ポイント改善	↑	5.3ポイント改善	↑	▲ 17.5	2.1ポイント後退 ↓

■業種別

業種別では、小売業・建設業・鉱業で前期比改善、製造業・卸売業・運輸業・サービス業・不動産業は前期比後退となった。

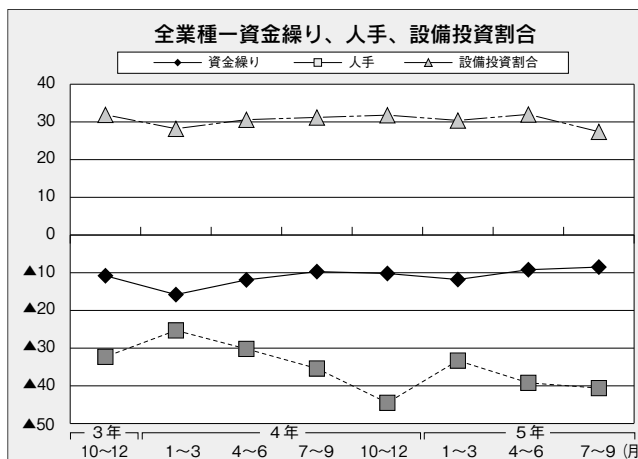
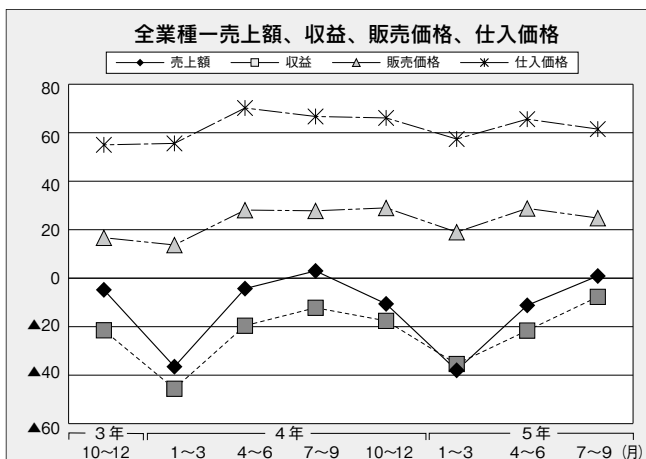
また、来期の予想業況判断D.I.は、運輸業・サービス業・鉱業・不動産業で改善見通し、製造業・卸売業・小売業・建設業は後退見通しとなった。

業種別の業況判断	今期D.I.	前期比		前年同期比		来期予想業況判断D.I.	
製造業（30社）	▲ 3.3	3.3ポイント後退 ↓	↓	12.3ポイント改善 ↑	↑	▲ 23.3	20.0ポイント後退 ↓
卸売業（21社）	▲ 9.5	9.5ポイント後退 ↓	↓	17.8ポイント改善 ↑	↑	▲ 19.0	9.5ポイント後退 ↓
小売業（58社）	▲ 6.9	25.4ポイント改善 ↑	↑	28.3ポイント改善 ↑	↑	▲ 27.6	20.7ポイント後退 ↓
建設業（53社）	▲ 17.0	16.3ポイント改善 ↑	↑	11.2ポイント後退 ↓	↓	▲ 18.9	1.9ポイント後退 ↓
運輸業（17社）	▲ 47.1	13.8ポイント後退 ↓	↓	2.9ポイント改善 ↑	↑	▲ 5.9	41.2ポイント改善 ↑
サービス業（43社）	▲ 32.6	16.3ポイント後退 ↓	↓	17.0ポイント後退 ↓	↓	▲ 18.6	14.0ポイント改善 ↑
鉱業（4社）	50.0	90.0ポイント改善 ↑	↑	10.0ポイント後退 ↓	↓	100.0	50.0ポイント改善 ↑
不動産業（8社）	0.0	22.2ポイント後退 ↓	↓	33.3ポイント改善 ↑	↑	12.5	12.5ポイント改善 ↑

■地区別

地区別では、市部が前期比改善、郡部は僅かに後退した。また、千歳地区・白老地区は共に改善した。来期の予想業況判断D.I.は、市部・郡部及び千歳地区・白老地区共に後退の見通しとなった。

地区別の業況判断	今期D.I.	前期比		前年同期比		来期予想業況判断D.I.	
市部（151社）	▲ 11.9	8.8ポイント改善 ↑	↑	7.5ポイント改善 ↑	↑	▲ 13.2	1.3ポイント後退 ↓
千歳地区（10社）	50.0	10.0ポイント改善 ↑	↑	34.6ポイント改善 ↑	↑	30.0	20.0ポイント後退 ↓
郡部（83社）	▲ 21.7	0.8ポイント後退 ↓	↓	1.5ポイント改善 ↑	↑	▲ 25.3	3.6ポイント後退 ↓
白老地区（8社）	▲ 12.5	1.8ポイント改善 ↑	↑	12.5ポイント後退 ↓	↓	▲ 25.0	12.5ポイント後退 ↓



【売上等の状況】

- 「売上額指数」は全業種「0.9」前期比12.1ポイント改善。千歳地区は「40.0」前期比横這い。白老地区は「0.0」前期比28.6ポイント改善した。業種別では卸売業・小売業・建設業・運輸業で前期比改善、製造業・サービス業・鉱業・不動産業は前期比後退となった。先行きは全業種「▲4.7」今期から5.6ポイント後退の見通しとなった。
- 「対前年売上」は全業種「▲3.4」前期比8.2ポイント改善。業種別では製造業・小売業・建設業・運輸業・鉱業で前期比改善、卸売業・サービス業・不動産業は後退した。
- 「収益」は全業種「▲7.7」前期比13.9ポイント改善。千歳地区は「40.0」前期比20.0ポイント改善。白老地区は「0.0」前期比50.0ポイント改善。業種別では卸売業・小売業・建設業・運輸業・サービス業で前期比改善、製造業・鉱業・不動産業で前期比後退となった。先行きは全業種「▲13.7」今期から5.3ポイント後退の見通しとなった。
- 「対前年収益」は全業種「▲15.4」前期比7.0ポイント改善。業種別では製造業・卸売業・小売業・建設業・鉱業で前期比改善、運輸業・サービス・不動産業で前期比後退となった
- 「販売価格」は全業種「24.8」前期比4.0ポイント下降。業種別では小売業で前期比上昇となったが、その他の業種はすべて前期比低下となった。
- 「仕入価格」は全業種「61.5」前期比4.1ポイント下降。業種別では卸売業・運輸業・鉱業で前期比上昇、製造業・小売業・建設業・サービス業・不動産業は前期比低下となった。
- 「在庫数量」は全業種「0.0」前期比0.5ポイント後退。業種別では製造業・小売業・建設業で前期比増加、卸売業・鉱業・不動産業は前期比後退となった。
- 「資金繰り」は全業種「▲8.5」前期比0.7ポイント改善。業種別では製造業・小売業・建設業・サービス業・鉱業で前期比改善、卸売業・運輸業・不動産業は前期比後退となった。
- 「残業時間」は全業種「▲7.3」前期比1.9ポイント改善。業種別では製造業・卸売業・小売業・建設業・運輸業・鉱業で前期比増加、サービス業・不動産業は前期比減少した。
- 「人手」は全業種「▲40.6」前期比1.4ポイント後退。業種別では製造業・卸売業・小売業・サービス業で前期比改善、建設業・運輸業・鉱業・不動産業で前期比後退となった。特に建設業・運輸業・不動産業で人手不足感が拡大している。
- 「設備の状況」は全業種「▲12.8」前期比2.0ポイント後退。業種別では製造業・建設業で前期比改善となったが、卸売業・小売業・運輸業・サービス業・鉱業は前期比後退した。
- 「設備投資実施割合」は前期比4.6ポイント下降し「27.4%」となった。

全業種アンケート調査指数(D.I.)の推移

	令和3年		令和4年				令和5年			
	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月予想
売上額	▲21.0	▲4.8	▲36.5	▲4.3	3.0	▲10.6	▲38.0	▲11.2	0.9	▲4.7
収益	▲27.9	▲21.5	▲45.6	▲19.6	▲12.2	▲17.6	▲35.4	▲21.6	▲7.7	▲13.7
販売価格	11.4	16.7	13.7	28.1	27.8	29.0	19.0	28.8	24.8	21.8
仕入価格	42.4	55.0	55.6	70.2	66.7	66.1	57.4	65.6	61.5	48.7
在庫数量	▲5.5	▲4.8	▲3.4	▲7.4	0.6	▲2.2	2.3	0.5	0.0	▲1.1
資金繰り	▲7.4	▲10.8	▲15.8	▲11.9	▲9.7	▲10.2	▲11.8	▲9.2	▲8.5	▲9.0
対前年売上	▲24.5	▲11.6	▲26.6	▲8.9	▲6.3	▲2.0	▲14.8	▲11.6	▲3.4	
対前年収益	▲33.2	▲27.9	▲36.9	▲31.1	▲17.3	▲20.0	▲26.6	▲22.4	▲15.4	
残業時間	▲13.5	▲1.6	▲12.4	▲12.3	▲0.8	▲3.3	▲14.3	▲9.2	▲7.3	▲3.8
人手	▲25.3	▲32.3	▲25.3	▲30.2	▲35.4	▲44.5	▲33.3	▲39.2	▲40.6	▲38.9
設備状況	▲9.5	▲4.1	▲6.0	▲9.8	▲9.6	▲13.2	▲15.8	▲10.8	▲12.8	▲15.0
設備投資割合	32.3	31.9	28.2	30.6	31.2	31.8	30.4	32.0	27.4	21.7

* 「在庫数量」は運輸業、サービス業を除く6業種 * 「設備投資割合」は、不動産業を除く7業種の設備投資を実施した先の割合。

「経営上の問題点」・「経営上の重点施策」上位10項目

(令和5年7月～9月期調査)

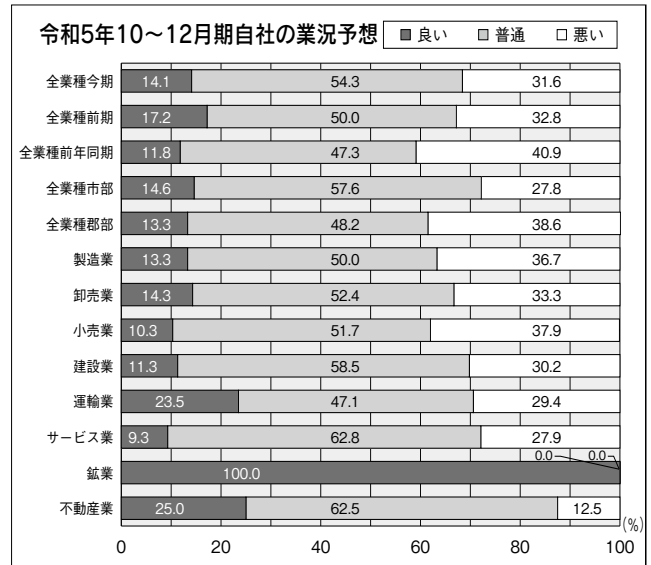
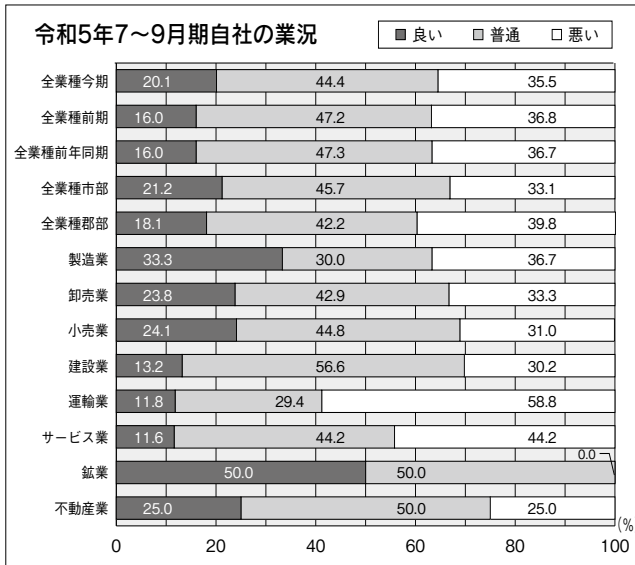
全業種・経営上の問題点	割合 (%)			全業種・経営上の重点施策	割合 (%)		
	市部	郡部	合計		市部	郡部	合計
材料価格の上昇 (原材料高)	45.8	60.8	51.0	経費を節減する	45.7	60.2	50.9
人手不足	45.0	42.2	44.0	人材を確保する	45.0	36.1	41.9
売上の停滞・減少	37.7	38.6	38.0	販路を広げる	33.1	14.5	26.5
利幅の縮小	23.8	25.3	24.4	情報力を強化する	17.2	7.2	13.7
仕入先からの値上げ要請	21.7	15.9	19.5	技術力を高める (強化する)	13.2	10.8	12.4
人件費の増加	20.5	15.7	18.8	教育訓練を強化する	11.3	7.2	9.8
同業者間の競争の激化	20.5	10.8	17.1	労働条件を改善 (良く) する	7.9	10.8	9.0
下請けの確保難	13.8	17.2	14.9	特になし	7.3	10.8	8.5
小口注文・多頻度配送の増加	18.8	0.0	14.3	品揃えを充実 (改善) する	7.3	6.0	6.8
生産能力の不足	9.5	15.4	11.8	広告・宣伝を強化する	6.6	6.0	6.4

景気動向調査主要指数(D.I.)の推移

	製 造 業					運 輸 業				
	4年10~12月	5年1~3月	5年4~6月	5年7~9月	5年10~12月予想	4年10~12月	5年1~3月	5年4~6月	5年7~9月	5年10~12月予想
売 上 額	▲ 16.7	▲ 53.3	10.3	3.3	▲ 23.3	▲ 22.2	▲ 50.0	▲ 27.8	▲ 5.9	17.6
収 益	▲ 13.3	▲ 40.0	3.4	3.3	▲ 33.3	▲ 27.8	▲ 50.0	▲ 22.2	▲ 11.8	0.0
販 売 価 格	53.3	33.3	27.6	26.7	13.3	16.7	6.3	22.2	11.8	17.6
仕 入 価 格	80.0	80.0	62.1	60.0	40.0	66.7	43.8	38.9	82.4	70.6
在 庫 数 量	3.3	6.7	0.0	3.3	▲ 3.3					
資 金 繰 り	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 17.2	▲ 13.3	▲ 13.3	▲ 11.1	▲ 12.5	▲ 5.6	▲ 17.6	▲ 17.6
前年比売上	6.7	6.7	6.9	13.3		5.6	▲ 12.5	▲ 27.8	▲ 23.5	
前年比収益	▲ 6.7	▲ 10.0	▲ 10.3	▲ 3.3		▲ 22.2	▲ 37.5	▲ 22.2	▲ 29.4	
残 業 時 間	▲ 3.3	▲ 26.7	▲ 20.7	▲ 20.0	▲ 16.7	11.1	▲ 25.0	▲ 33.3	▲ 29.4	▲ 17.6
人 手	▲ 46.7	▲ 26.7	▲ 44.8	▲ 36.7	▲ 40.0	▲ 72.2	▲ 62.5	▲ 66.7	▲ 70.6	▲ 76.5
設 備 状 況	▲ 20.0	▲ 16.7	▲ 27.6	▲ 13.3	▲ 10.0	▲ 22.2	▲ 43.8	▲ 16.7	▲ 17.6	▲ 29.4
	卸 売 業					サ ー ビ ス 業				
売 上 額	21.7	▲ 36.4	12.5	38.1	28.6	▲ 26.7	▲ 46.7	▲ 12.2	▲ 18.6	▲ 9.3
収 益	▲ 8.7	▲ 31.8	4.2	28.6	14.3	▲ 31.1	▲ 46.7	▲ 20.4	▲ 18.6	▲ 18.6
販 売 価 格	39.1	31.8	45.8	38.1	28.6	33.3	17.8	24.5	20.9	20.9
仕 入 価 格	56.5	54.5	54.2	57.1	28.6	73.3	60.0	75.5	62.8	55.8
在 庫 数 量	13.0	18.2	0.0	▲ 4.8	▲ 4.8					
資 金 繰 り	▲ 8.7	▲ 9.1	▲ 4.2	▲ 19.0	▲ 23.8	▲ 11.1	▲ 11.1	▲ 8.2	▲ 7.0	▲ 4.7
前年比売上	34.8	9.1	33.3	23.8		▲ 11.1	▲ 22.2	▲ 18.4	▲ 25.6	
前年比収益	▲ 4.3	▲ 9.1	12.5	33.3		▲ 22.2	▲ 28.9	▲ 22.4	▲ 32.6	
残 業 時 間	▲ 13.0	▲ 18.2	8.3	14.3	9.5	▲ 2.2	▲ 8.9	▲ 2.0	▲ 4.7	2.3
人 手	▲ 39.1	▲ 22.7	▲ 29.2	▲ 14.3	▲ 23.8	▲ 48.9	▲ 55.6	▲ 51.0	▲ 39.5	▲ 39.5
設 備 状 況	▲ 8.7	▲ 4.5	0.0	▲ 9.5	▲ 19.0	▲ 17.8	▲ 15.6	▲ 14.3	▲ 23.3	▲ 25.6
	小 売 業					鉱 業				
売 上 額	▲ 5.0	▲ 20.3	▲ 24.2	▲ 3.4	▲ 15.5	0.0	▲ 100.0	60.0	25.0	75.0
収 益	▲ 15.0	▲ 32.2	▲ 40.3	▲ 12.1	▲ 22.4	▲ 20.0	▲ 60.0	40.0	0.0	75.0
販 売 価 格	41.7	32.2	38.7	43.1	34.5	0.0	0.0	40.0	0.0	25.0
仕 入 価 格	63.3	57.6	66.1	62.1	43.1	40.0	20.0	20.0	50.0	75.0
在 庫 数 量	▲ 8.3	▲ 5.1	▲ 1.6	1.7	1.7	0.0	20.0	20.0	▲ 50.0	▲ 50.0
資 金 繰 り	▲ 13.3	▲ 15.3	▲ 21.0	▲ 12.1	▲ 8.6	20.0	20.0	20.0	25.0	25.0
前年比売上	▲ 10.0	▲ 20.3	▲ 21.0	10.3		40.0	20.0	▲ 40.0	25.0	
前年比収益	▲ 36.7	▲ 37.3	▲ 38.7	▲ 20.7		0.0	▲ 20.0	▲ 20.0	25.0	
残 業 時 間	▲ 8.3	▲ 15.3	▲ 11.3	▲ 8.6	▲ 12.1	20.0	0.0	0.0	25.0	25.0
人 手	▲ 33.3	▲ 28.8	▲ 29.0	▲ 27.6	▲ 20.7	0.0	0.0	▲ 20.0	▲ 25.0	▲ 25.0
設 備 状 況	▲ 6.7	▲ 23.7	▲ 8.1	▲ 10.3	▲ 8.6	0.0	▲ 40.0	20.0	▲ 25.0	▲ 25.0
	建 設 業					不 動 産 業				
売 上 額	▲ 13.2	▲ 39.2	▲ 22.2	5.7	▲ 9.4	0.0	0.0	11.1	0.0	25.0
収 益	▲ 18.9	▲ 31.4	▲ 37.0	▲ 15.1	▲ 17.0	18.2	22.2	11.1	0.0	25.0
販 売 価 格	5.7	▲ 3.9	16.7	11.3	13.2	0.0	22.2	22.2	0.0	12.5
仕 入 価 格	67.9	58.8	81.5	67.9	58.5	36.4	11.1	33.3	▲ 12.5	12.5
在 庫 数 量	▲ 3.8	2.0	1.9	5.7	3.8	▲ 9.1	▲ 11.1	0.0	▲ 25.0	▲ 12.5
資 金 繰 り	▲ 5.7	▲ 7.8	0.0	1.9	▲ 5.7	0.0	▲ 11.1	0.0	▲ 12.5	0.0
前年比売上	▲ 17.0	▲ 37.3	▲ 25.9	▲ 17.0		18.2	33.3	44.4	0.0	
前年比収益	▲ 26.4	▲ 37.3	▲ 37.0	▲ 26.4		36.4	33.3	44.4	25.0	
残 業 時 間	▲ 3.8	▲ 11.8	▲ 13.0	▲ 5.7	3.8	9.1	11.1	22.2	0.0	0.0
人 手	▲ 49.1	▲ 23.5	▲ 33.3	▲ 58.5	▲ 52.8	▲ 45.5	▲ 22.2	▲ 44.4	▲ 50.0	▲ 37.5
設 備 状 況	▲ 13.2	0.0	▲ 7.4	▲ 5.7	▲ 9.4					

*各項目選択肢の構成比 (%) の差による指数。選択肢は項目ごとに異なる。

「業況判断」(D.I.)の回答の内訳



製造業

— 業況判断指数 前期比後退 ▲3.3 —

回答事業所30件 (回答率81.1%)

管内製造業30社による業況判断指数は「▲3.3」、前期比3.3ポイント後退したが、前年同期比では12.3ポイント改善した。

地域別では、市部が「10.0」前期比横這い、郡部は「▲30.0」前期比7.8ポイント後退した。

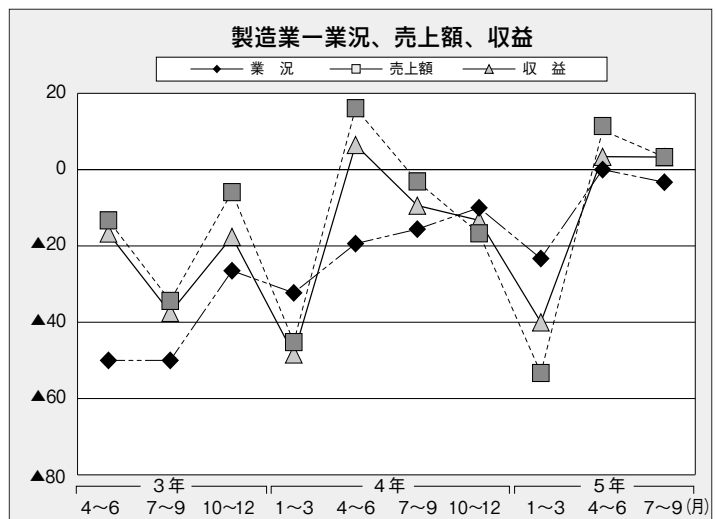
売上額指数は「3.3」、前期比7.0ポイント後退したが、前年同期比では6.4ポイント改善した。

収益指数は「3.3」、前期比0.1ポイント僅かに後退したが、前年同期比では12.7ポイント改善した。

業況判断指数は1頁の表参照

売上額指数、収益指数は4頁の表参照

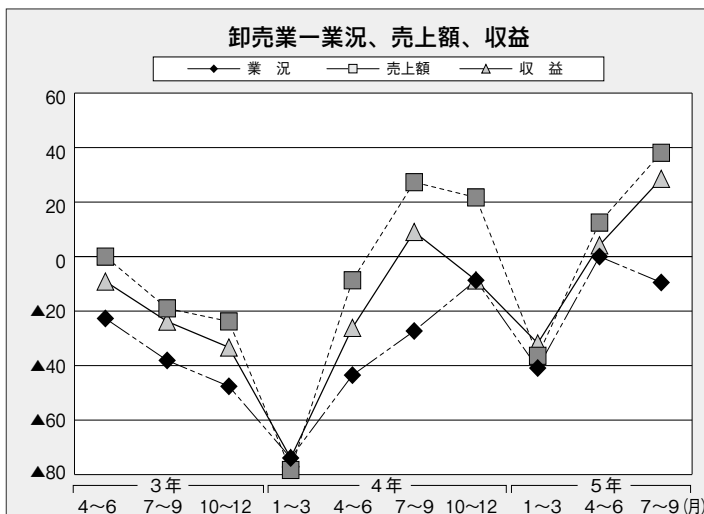
以下各業種とも同じ



卸売業

— 業況判断指数 前期比後退 ▲9.5 —

回答事業所21件 (回答率84.0%)



管内卸売業21社による業況判断指数は「▲9.5」、前期比9.5ポイント後退したが、前年同期比では17.8ポイント改善した。

地域別では、市部が「6.3」前期比6.3ポイント改善、郡部は「▲60.0」前期比60.0ポイント後退した。

売上額指数は「38.1」、前期比25.6ポイント改善、前年同期比でも10.8ポイント改善した。

収益指数は「28.6」、前期比24.4ポイント改善、前年同期比でも19.5ポイント改善した。

小売業

— 業況判断指数 前期比改善 ▲6.9 —

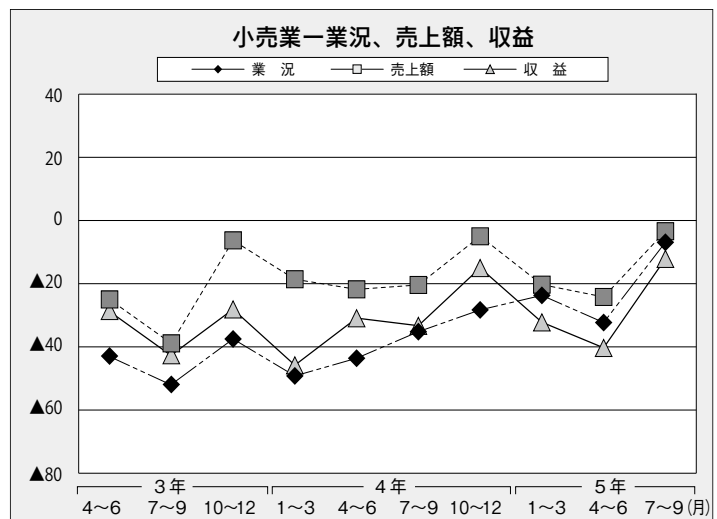
回答事業所58件 (回答率80.6%)

管内小売業58社による業況判断指数は「▲6.9」、前期比25.4ポイント改善、前年同期比でも28.3ポイント改善した。

地域別では、市部が「0.0」前期比29.4ポイント改善、郡部も「▲15.4」前期比20.3ポイント改善した。

売上額指数は「▲3.4」、前期比20.8ポイント改善、前年同期比でも17.0ポイント改善した。

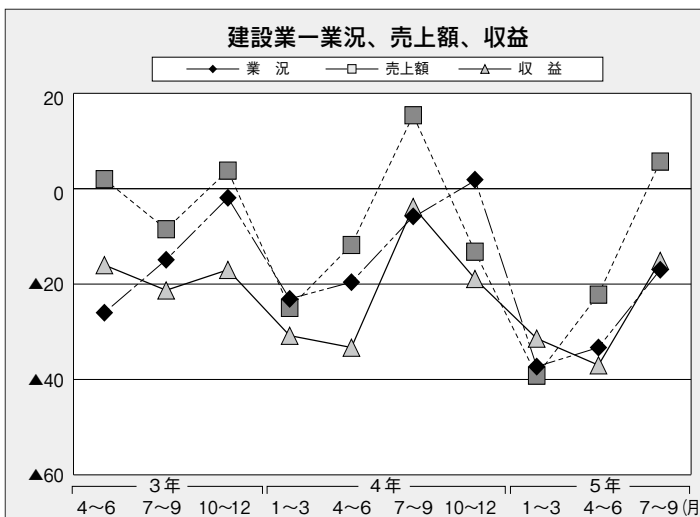
収益指数は「▲12.1」、前期比28.2ポイント改善、前年同期比でも21.2ポイント改善した。



建設業

— 業況判断指数 2期連続改善 ▲17.0 —

回答事業所53件 (回答率89.8%)



管内建設業53社による業況判断指数は「▲17.0」、前期比16.3ポイント改善したが、前年同期比では11.2ポイント後退した。

地域別では、市部が「▲18.9」前期比20.6ポイント改善、郡部も「▲12.5」前期比6.3ポイント改善した。

売上額指数は「5.7」、前期比27.9ポイント改善したが、前年同期比では9.7ポイント後退した。

収益指数は「▲15.1」、前期比21.9ポイント改善したが、前年同期比では11.3ポイント後退した。

運輸業

— 業況判断指数 前期比後退 ▲47.1 —

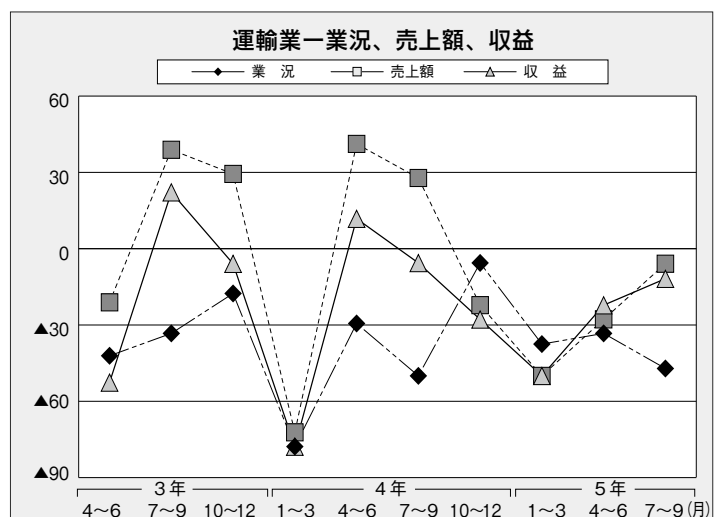
回答事業所17件 (回答率85.0%)

管内運輸業17社による業況判断指数は「▲47.1」、前期比13.8ポイント後退したが、前年同期比では2.9ポイント改善した。

地域別では、市部が「▲55.6」前期比4.4ポイント改善、郡部は「▲37.5」前期比37.5ポイント後退した。

売上額指数は「▲5.9」、前期比21.9ポイント改善したが、前年同期比では33.7ポイント後退した。

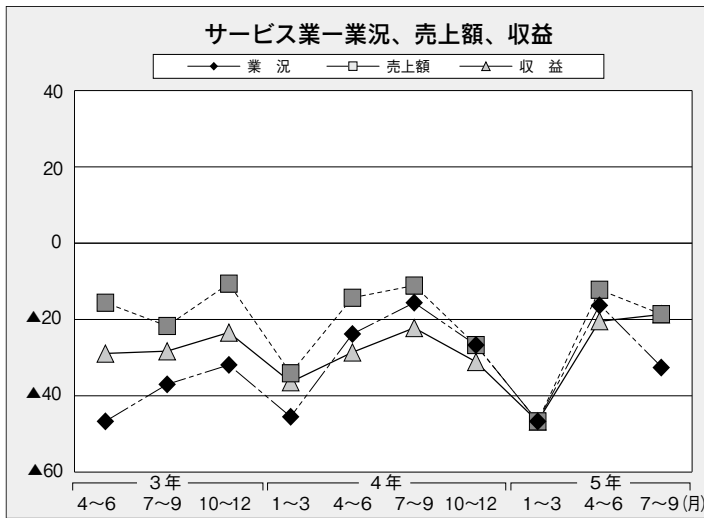
収益指数は「▲11.8」、前期比10.4ポイント改善したが、前年同期比では6.2ポイント後退した。



サービス業

—業況判断指数 前期比後退 ▲32.6—

回答事業所43件（回答率81.1%）



管内サービス業43社による業況判断指数は「▲32.6」、前期比16.3ポイント後退、前年同期比でも17.0ポイント後退した。

地域別では、市部が「▲31.0」前期比16.3ポイント後退、郡部も「▲35.7」前期比15.7ポイント後退した。

売上額指数は「▲18.6」、前期比6.4ポイント後退、前年同期比でも7.5ポイント後退した。

収益指数は「▲18.6」、前期比1.8ポイント改善、前年同期比でも3.6ポイント改善した。

鉱業

—業況判断指数 前期比改善 50.0—

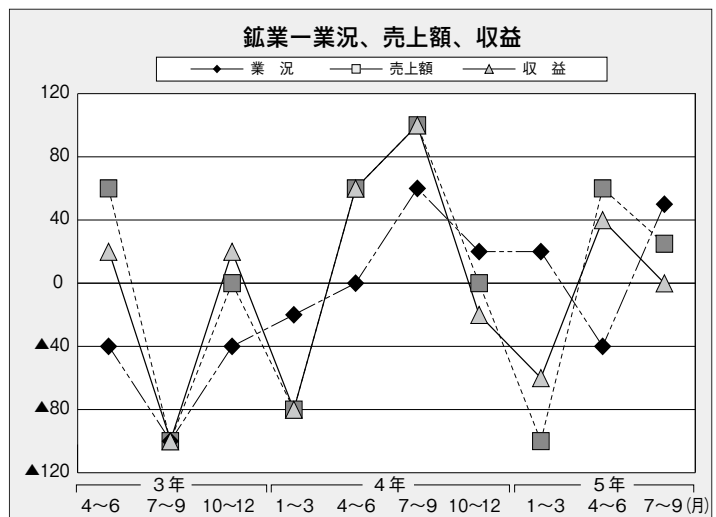
回答事業所4件（回答率80.0%）

管内鉱業4社による業況判断指数は「50.0」、前期比90.0ポイント改善したが、前年同期比では10.0ポイント後退した。

地域別では、市部が「0.0」前期比100.0ポイント改善、郡部も「66.7」前期比91.7ポイント改善した。

売上額指数は「25.0」、前期比35.0ポイント後退、前年同期比でも75.0ポイント後退した。

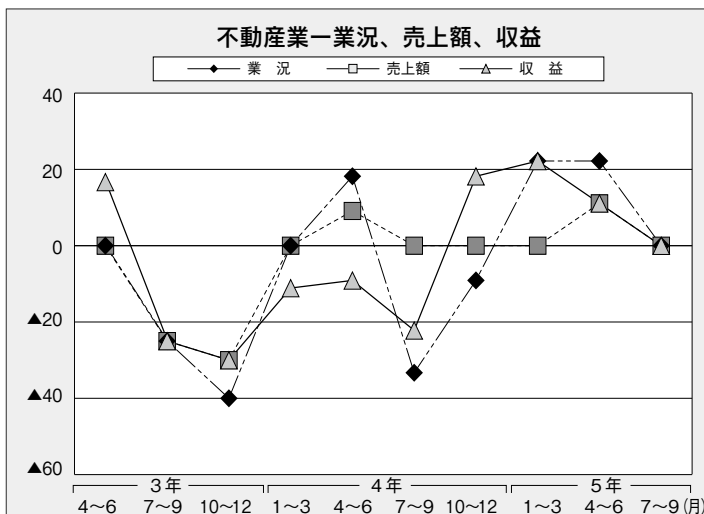
収益指数は「0.0」、前期比40.0ポイント後退、前年同期比でも100.0ポイント後退した。



不動産業

—業況判断指数 前期比後退 0.0—

回答事業所8件（回答率72.7%）



管内不動産業8社による業況判断指数は「0.0」、前期比22.2ポイント後退したが、前年同期比では33.3ポイント改善した。

地域別では、市部が「0.0」前期比12.5ポイント後退、郡部も「0.0」前期比100.0ポイント後退した。

売上額指数は「0.0」、前期比11.1ポイント後退したが、前年同期比では横這いとなった。

収益指数は「0.0」、前期比11.1ポイント後退したが、前年同期比では22.2ポイント改善した。

特別調査アンケート結果

中小企業の将来を見据えた事業承継について

問1 貴社の社長（代表者）の年齢階層と後継者問題についてお答えください。

◎社長の年齢は「60歳代」、後継者は「まだ考えていない」が最多

社長の年齢階層は、「60歳代」31.2%（73社）が最も多く、「50歳代」27.4%（64社）、「70歳代以上」23.1%（54社）が続いた。

また、後継者問題については、「まだ考えていない」34.6%（81社）が最も多く、「後継者はいるが、まだ決まっていない」20.5%（48社）、「後継者はすでに決まっている」17.5%（41社）が続いた。

なお、「候補者が見当たらない」との回答は15.0%（35社）にとどまった。

単位：%

社長の年齢階層と後継者（234社）		全業種	製造業	卸売業	小売業	建設業	運輸業	サービス業	鉱業	不動産
社長の年齢	20～30歳代	3.0	10.0	0.0	0.0	1.9	0.0	4.7	0.0	12.5
	40歳代	15.4	16.7	28.6	19.0	13.2	0.0	14.0	0.0	12.5
	50歳代	27.4	16.7	33.3	24.1	35.8	29.4	18.6	50.0	50.0
	60歳代	31.2	33.3	23.8	25.9	32.1	41.2	39.5	25.0	12.5
	70歳代以上	23.1	23.3	14.3	31.0	17.0	29.4	23.3	25.0	12.5
後継者	後継者はすでに決まっている	17.5	10.0	9.5	20.7	28.3	29.4	7.0	0.0	12.5
	後継者はいるが、まだ決まっていない	20.5	26.7	14.3	17.2	26.4	23.5	14.0	25.0	25.0
	候補者が見当たらない	15.0	13.3	14.3	10.3	15.1	17.6	20.9	25.0	12.5
	まだ考えていない	34.6	40.0	52.4	32.8	26.4	23.5	39.5	0.0	50.0
	後継者は必要ない	12.4	10.0	9.5	19.0	3.8	5.9	18.6	50.0	0.0

問2 貴社の現時点における事業承継の考え方についてお答えください。

◎「子供（娘婿などを含む）に承継」が最多

現時点における事業承継の考え方について「子供（娘婿などを含む）に承継」が27.8%（65社）、「現時点で考えるつもりはない」が26.9%（63社）、「現在の事業を継続するつもりがない」が10.7%（25社）、「非同族の役員、従業員に承継」が10.3%（24社）の順となった。

業種別に見ると、「子供（娘婿などを含む）に承継」で建設業（41.5%、22社）、運輸業（47.1%、8社）、不動産業（50.0%、4社）が高い割合となった。

単位：%

貴社の事業承継の考え方	全業種	製造業	卸売業	小売業	建設業	運輸業	サービス業	鉱業	不動産
子供（娘婿などを含む）に承継	27.8	23.3	28.6	19.0	41.5	47.1	14.0	25.0	50.0
その他の同族者に承継	5.6	6.7	0.0	8.6	3.8	11.8	4.7	0.0	0.0
非同族の役員、従業員に承継	10.3	16.7	9.5	8.6	9.4	11.8	7.0	0.0	25.0
非同族の社外人材に承継	3.8	3.3	0.0	6.9	1.9	0.0	7.0	0.0	0.0
M & A（第三者への事業譲渡）等	6.8	10.0	4.8	8.6	3.8	5.9	7.0	25.0	0.0
忙しくて考える余裕がない	6.0	3.3	9.5	8.6	3.8	0.0	9.3	0.0	0.0
何から手をつけていいかわからない	0.4	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
身近に相談相手がいない	1.7	0.0	0.0	0.0	1.9	0.0	7.0	0.0	0.0
現時点で考えるつもりはない	26.9	30.0	23.8	24.1	28.3	17.6	30.2	50.0	25.0
現在の事業を継続するつもりがない	10.7	6.7	19.0	15.5	5.7	5.9	14.0	0.0	0.0

問3 事業承継を行おうとする際に、どのようなことが問題になると考えられますか。

◎「事業の将来性」が最多、なかでも卸売業は6割超

事業承継を行おうとする際の問題点としては「事業の将来性」が最多の40.2%（94社）、「後継者の力量」が29.5%（69社）、「従業員の雇用維持」が26.5%（62社）と続く。

業種別に見ると、卸売業・小売業・建設業で「事業の将来性」の割合が高く、運輸業・製造業では「取引先との信頼関係の維持」、不動産業では「後継者の力量」の割合が高くなっている。

(最大3つまで回答) 単位：%

事業承継を行う際の問題点	全業種	製造業	卸売業	小売業	建設業	運輸業	サービス業	鉱業	不動産
事業の将来性	40.2	30.0	61.9	46.6	41.5	41.2	27.9	25.0	37.5
取引先との信頼関係の維持	22.2	36.7	28.6	15.5	18.9	52.9	9.3	25.0	25.0
後継者の力量	29.5	26.7	38.1	24.1	37.7	17.6	20.9	25.0	75.0
候補者の選定・確保	14.5	20.0	19.0	15.5	9.4	5.9	16.3	25.0	12.5
従業員の雇用維持	26.5	23.3	28.6	20.7	34.0	47.1	23.3	0.0	12.5
従業員の理解	14.1	20.0	19.0	10.3	15.1	11.8	11.6	50.0	0.0
譲渡金額	7.7	3.3	14.3	12.1	3.8	5.9	7.0	0.0	12.5
借入金・個人保証の引継ぎ	14.5	23.3	19.0	13.8	9.4	11.8	9.3	25.0	37.5
個人資産の取扱い・相続税等の税金対策	6.4	0.0	0.0	6.9	9.4	11.8	9.3	0.0	0.0
特にない	25.2	20.0	14.3	24.1	24.5	23.5	41.9	25.0	0.0

問4 事業承継を進めていく上で、信用金庫に何を期待しますか。

◎「個別相談」が最多も多岐にわたる

円滑に事業承継を進めていく上で、信用金庫に期待することは、「個別相談」が10.3% (24社)、「早期の事業承継の準備への助言等」が7.7% (18社)、「事業承継前後の個人保証・担保への対応」が6.4% (15社) などとなった。問2で事業承継について「現時点で考えるつもりはない」「現在の事業を継続するつもりがない」などが一定数おり、「特にない」とする回答が47.0% (110社) と最多となった。

単位：%

事業承継にあたり信用金庫への期待	全業種	製造業	卸売業	小売業	建設業	運輸業	サービス業	鉱業	不動産
後継者教育・セミナー等	4.7	0.0	4.8	5.2	9.4	5.9	2.3	0.0	0.0
個別相談	10.3	10.0	19.0	17.2	5.7	0.0	9.3	0.0	0.0
専門家(税理士等)の紹介	1.7	0.0	4.8	0.0	1.9	0.0	4.7	0.0	0.0
事業譲渡先の紹介	1.7	3.3	4.8	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
事業承継前後の個人保証・担保への対応	6.4	13.3	0.0	3.4	5.7	17.6	2.3	0.0	25.0
早期の事業承継の準備への助言等	7.7	10.0	9.5	8.6	3.8	0.0	11.6	0.0	12.5
承継後の事業計画策定への助言等	5.1	6.7	0.0	3.4	9.4	5.9	2.3	0.0	12.5
自社の問題であるため自社で解決	13.2	23.3	19.0	6.9	18.9	5.9	11.6	0.0	0.0
特にない	47.0	33.3	33.3	51.7	43.4	58.8	55.8	75.0	37.5
その他()	2.1	0.0	4.8	0.0	1.9	5.9	0.0	25.0	12.5

問5 M&Aについてどのような認識を持っていますか。

◎「従業員の雇用を維持できる」など前向きな認識が多い

M&Aについての認識は「従業員の雇用を維持できる」が25.6% (60社)、「事業を最適な先に譲渡できる」が23.5% (55社)、「取引関係を維持できる」が18.4% (43社) と続き、前向きな認識が上位となった。

業種別に見ると、製造業・小売業・建設業・運輸業は「従業員の雇用を維持できる」、卸売業は「取引関係を維持できる」、サービス業・鉱業は「事業を最適な先に譲渡できる」が最も高い割合となったが、不動産業では「従業員の雇用維持に不安がある」とマイナス要素が最も高い割合となった。

(最大3つまで回答) 単位：%

M&Aについての認識	全業種	製造業	卸売業	小売業	建設業	運輸業	サービス業	鉱業	不動産
事業を最適な先に譲渡できる	23.5	23.3	23.8	20.7	24.5	11.8	27.9	50.0	25.0
従業員の雇用を維持できる	25.6	43.3	28.6	22.4	30.2	23.5	14.0	25.0	12.5
取引関係を維持できる	18.4	33.3	38.1	13.8	20.8	11.8	4.7	0.0	25.0
事業拡大戦略の1つである	17.9	20.0	28.6	12.1	20.8	23.5	14.0	0.0	25.0
乗っ取りなど負のイメージがある	8.1	0.0	0.0	10.0	13.2	5.9	7.0	0.0	25.0
中小企業にはなじまない	12.8	10.0	14.3	13.8	20.8	5.9	7.0	25.0	0.0
従業員の雇用維持に不安がある	15.8	20.0	0.0	6.9	22.6	11.8	18.6	25.0	50.0
専門家の支援が必要なものである	13.2	23.3	28.6	6.9	11.3	11.8	9.3	0.0	25.0
その他()	1.7	6.7	0.0	0.0	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0
よくわからない	31.2	20.0	33.3	39.7	20.8	41.2	41.9	0.0	12.5

管内主要経済統計

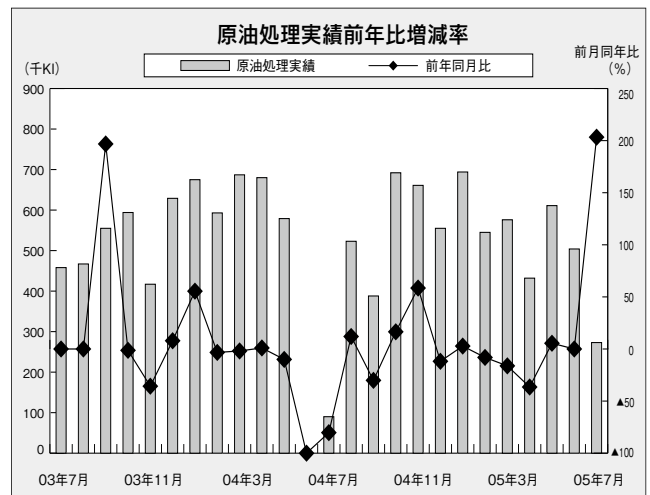
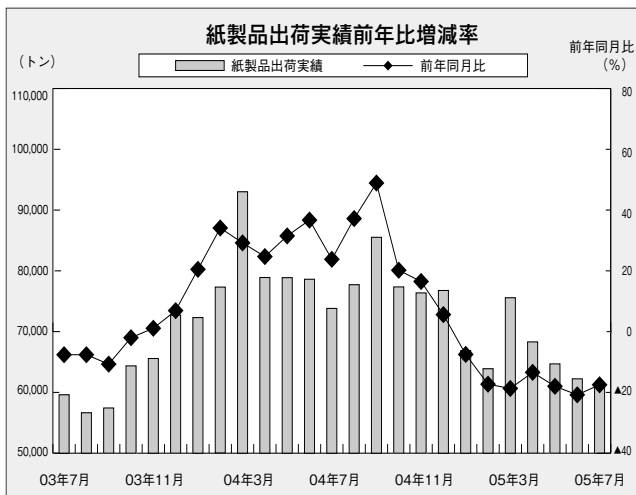
1. 製造業の状況

主要製造業生産動向

(単位：％)

	紙製品出荷実績 トン	前年 同月比	原油処理実績 千kl	前年 同月比		紙製品出荷実績 トン	前年 同月比	原油処理実績 千kl	前年 同月比
04年07月	73,821	23.8	90	▲ 80.3	05年02月	63,891	▲ 17.3	545	▲ 8.1
04年08月	77,718	37.2	523	12.0	05年03月	75,572	▲ 18.7	576	▲ 16.2
04年09月	85,521	48.9	388	▲ 30.1	05年04月	68,310	▲ 13.4	432	▲ 36.5
04年10月	77,358	20.2	692	16.5	05年05月	64,692	▲ 18.0	611	5.5
04年11月	76,371	16.5	661	58.5	05年06月	62,235	▲ 20.8	504	—
04年12月	76,772	5.6	555	▲ 11.8	05年07月	60,908	▲ 17.5	273	203.3
05年01月	66,877	▲ 7.5	694	2.8					

*資料出所 … 苫小牧商工会議所調査月報



2. 土木・建設の状況

① 公共工事

(単位：百万円・％)

	苫小牧市		室蘭建設管理部		室蘭開発建設部	
	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比
04年07月	495	▲ 39.3	613	▲ 37.3	2,805	▲ 28.9
04年08月	636	▲ 42.8	1,037	▲ 1.0	627	▲ 91.4
04年09月	633	▲ 44.5	711	5.5	687	▲ 83.0
04年10月	334	▲ 65.2	103	▲ 75.8	3,515	—
04年11月	395	11.6	418	44.1	242	▲ 28.8
04年12月	79	▲ 58.2	294	635.0	367	—
05年01月	4	—	31	▲ 65.9	165	—
05年02月	3	—	13	8.3	205	▲ 92.2
05年03月	644	▲ 9.4	1,070	▲ 4.7	4,349	▲ 28.5
05年04月	884	154.0	374	▲ 22.2	5,461	▲ 24.2
05年05月	1,038	▲ 44.3	583	255.5	4,397	5.2
05年06月	3,549	127.1	812	▲ 46.6	4,719	4.3
05年07月	984	98.8	1,535	150.4	18,932	574.9

*資料出所 — 苫小牧市、苫小牧商工会議所調査月報

② 建築確認申請・住宅着工

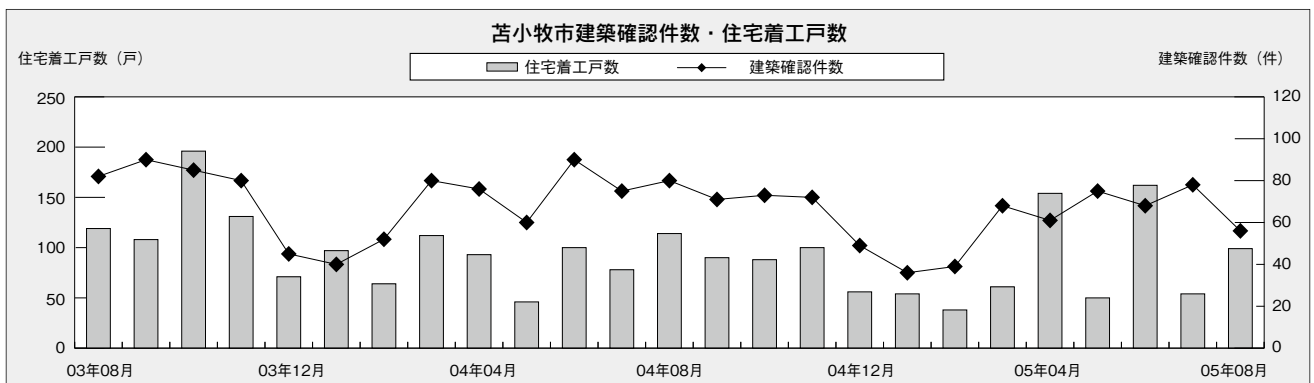
苫小牧市建築確認申請件数・住宅着工戸数

	建築確認件数		住宅着工戸数	
	件数	前年比(%)	戸数	前年比(%)
04年08月	80	▲2.4	114	▲4.2
04年09月	71	▲21.1	90	▲16.7
04年10月	73	▲14.1	88	▲55.1
04年11月	72	▲10.0	100	▲23.7
04年12月	49	8.9	56	▲21.1
05年01月	36	▲10.0	54	▲44.3
05年02月	39	▲25.0	38	▲40.6
05年03月	68	▲15.0	61	▲45.5
05年04月	61	▲19.7	154	65.6
05年05月	75	25.0	50	8.7
05年06月	68	▲24.4	162	62.0
05年07月	78	4.0	54	▲30.8
05年08月	56	▲30.0	99	▲13.2

管内建築確認申請件数・住宅着工戸数(5年6月~5年8月)

	建築確認申請件数		住宅着工戸数	
	件数	前年差異	戸数	前年差異
苫小牧市	202	▲43	315	23
千歳市	93	▲53		
白老町	14	6	11	3
厚真町	0	▲3	0	▲3
安平町	3	▲1	5	1
むかわ町	14	8	7	5
日高町	10	0	7	1
平取町	3	▲2	3	▲1
新冠町	0	▲3	2	▲3
新ひだか町	3	▲5	1	▲2

建築確認件数は、指定確認検査機関の受付件数を加えて掲載しております。



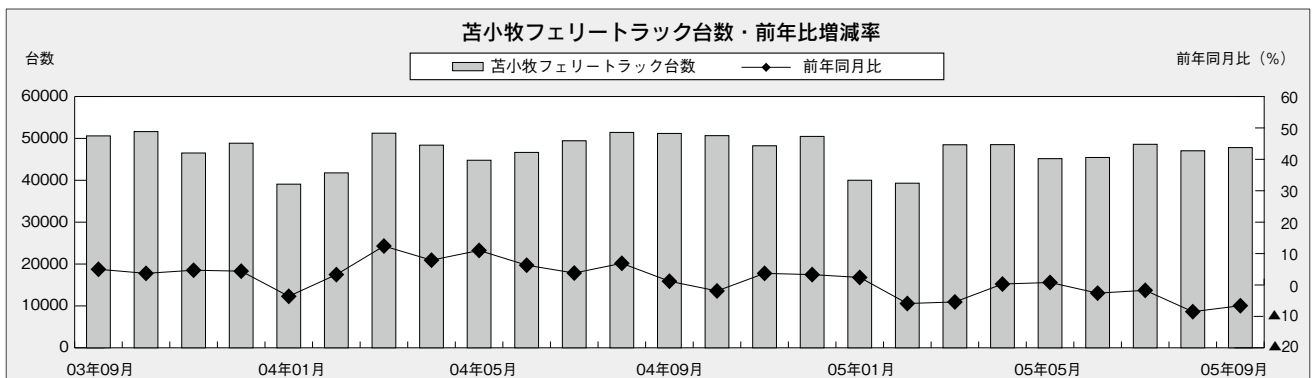
3. 海運・運輸の状況

① 苫小牧港フェリー運航状況

(単位: 比%)

	航海数		乗用車		トラック		バス		自動2輪		旅客	
	便	前年比	台	前年比	台	前年比	台	前年比	台	前年比	人	前年比
04年09月	583	▲4.0	24,016	55.0	51,183	1.2	84	35.5	6,265	74.3	72,767	53.8
04年10月	612	▲0.6	22,002	26.0	50,655	▲1.9	74	2.8	1,635	44.8	58,648	18.0
04年11月	597	3.5	16,170	15.0	48,233	3.7	83	5.1	322	12.6	45,287	7.3
04年12月	585	6.6	15,494	7.2	50,475	3.3	104	6.1	188	▲17.9	49,761	1.8
05年01月	495	3.8	14,764	8.1	40,008	2.4	76	▲3.8	212	▲7.8	44,827	4.3
05年02月	470	▲0.4	11,250	18.3	39,304	▲5.9	151	155.9	206	▲21.1	37,564	19.4
05年03月	572	▲2.6	20,293	14.5	48,473	▲5.4	155	2.0	384	▲0.5	61,918	18.2
05年04月	545	2.8	22,156	11.5	48,509	0.3	115	18.6	1,378	3.5	59,156	12.0
05年05月	593	5.7	25,149	14.5	45,160	0.8	189	182.1	2,957	▲3.5	77,315	25.1
05年06月	550	▲3.8	23,287	12.5	45,445	▲2.6	116	87.1	4,244	48.6	64,221	15.1
05年07月	604	0.8	29,510	13.9	48,591	▲1.7	405	197.8	8,541	6.5	96,378	21.4
05年08月	560	▲11.0	35,932	11.6	47,039	▲8.5	354	105.8	9,742	▲3.7	122,539	15.3
05年09月	552	▲5.3	25,537	6.3	47,808	▲6.6	141	67.9	6,238	▲0.4	77,221	6.1

*資料出所 … 北海道運輸局室蘭運輸支局苫小牧海事事務所 *上り・下り便の合計 *トラックはシャーシのみを含む

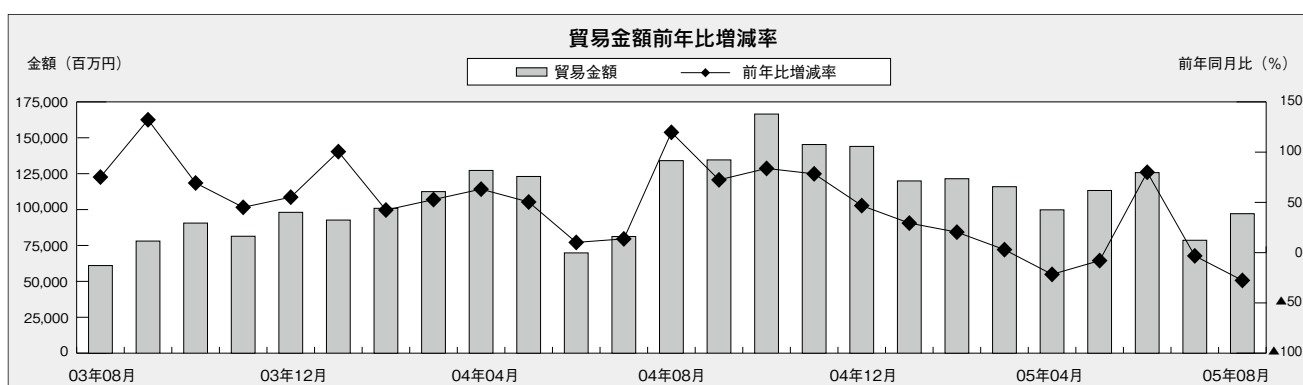


② 貿易実績

(単位：百万円・%)

	輸 出		輸 入		貿易金額合計	
	金 額	前年比	金 額	前年比	金 額	前年比
04年08月	32,537	145.3	101,535	112.6	134,072	119.7
04年09月	38,309	222.5	96,279	45.4	134,588	72.4
04年10月	23,660	37.9	142,853	94.5	166,513	83.8
04年11月	16,654	7.5	128,646	95.1	145,300	78.4
04年12月	16,490	20.3	127,501	51.1	143,991	46.8
05年01月	10,282	▲ 5.6	109,666	34.1	119,949	29.4
05年02月	14,865	16.7	106,606	20.9	121,471	20.4
05年03月	14,651	▲ 13.3	101,268	5.9	115,919	3.0
05年04月	23,446	6.3	76,375	▲ 27.4	99,822	▲ 21.6
05年05月	17,212	17.0	96,081	▲ 11.3	113,293	▲ 7.9
05年06月	17,987	13.1	107,734	99.8	125,721	80.0
05年07月	18,191	▲ 34.1	60,441	12.6	78,632	▲ 3.2
05年08月	14,128	▲ 56.6	82,999	▲ 18.3	97,127	▲ 27.6

*資料出所 … 函館税関苫小牧税関支署 (速報値)

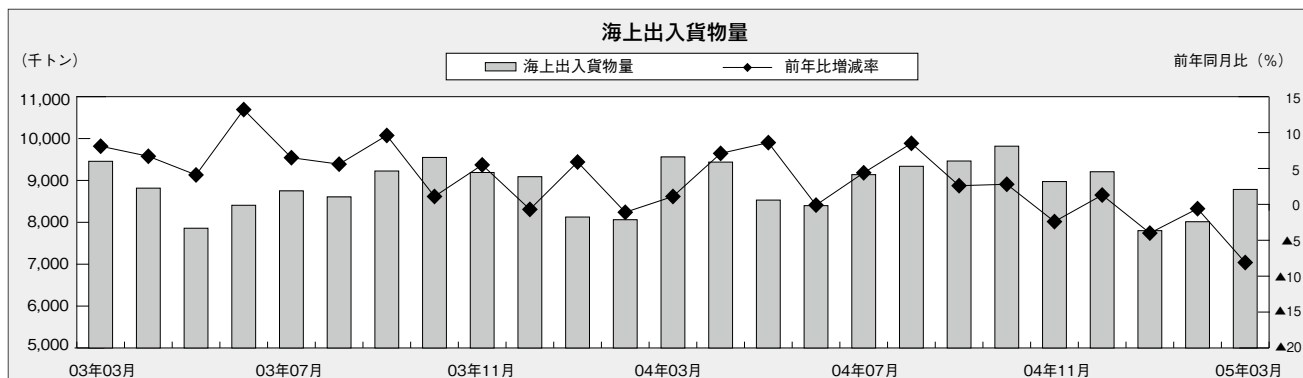


③ 苫小牧港港湾荷役取扱状況 (重量)

(単位：千トン・%)

	輸 出	前年比	輸 入	前年比	移 出	前年比	移 入	前年比	合 計	前年比
04年03月	97	7.3	1,273	▲ 22.8	4,075	5.6	4,116	6.6	9,561	1.1
04年04月	98	▲ 2.7	1,365	7.2	3,984	9.5	3,992	4.9	9,438	7.1
04年05月	85	6.4	1,030	▲ 13.1	3,713	12.4	3,703	12.5	8,531	8.6
04年06月	75	5.5	686	▲ 32.0	3,662	▲ 0.8	3,975	9.3	8,398	▲ 0.1
04年07月	160	101.2	840	▲ 11.5	3,879	▲ 0.3	4,259	11.2	9,138	4.4
04年08月	215	217.8	1,119	13.4	3,952	5.8	4,052	6.2	9,338	8.5
04年09月	241	395.6	1,242	▲ 3.5	3,918	0.3	4,062	2.0	9,464	2.6
04年10月	106	▲ 28.7	1,535	28.8	4,103	0.9	4,075	▲ 1.6	9,818	2.8
04年11月	76	▲ 33.8	1,287	▲ 16.0	3,876	2.4	3,734	▲ 0.6	8,973	▲ 2.4
04年12月	84	6.8	1,293	▲ 3.0	3,846	▲ 1.6	3,983	5.6	9,207	1.3
05年01月	44	▲ 40.2	1,339	▲ 13.2	3,264	▲ 2.6	3,153	▲ 0.2	7,801	▲ 4.0
05年02月	73	▲ 6.2	1,515	27.3	3,257	▲ 4.9	3,169	▲ 5.9	8,014	▲ 0.6
05年03月	56	▲ 42.0	1,367	7.4	3,621	▲ 11.2	3,741	▲ 9.1	8,785	▲ 8.1

*資料出所 … 苫小牧港管理組合 (HP) (*数値は速報値のため、後日変更となることもあります。)



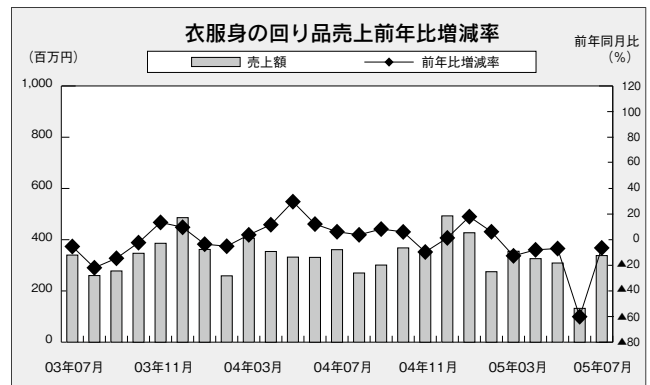
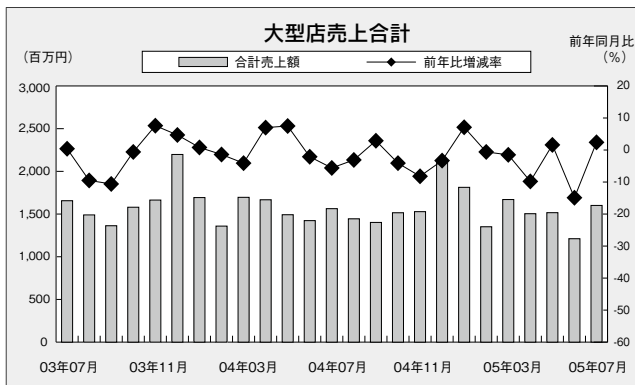
4. 商業の状況

① 大型店売上状況

(単位：百万円・%)

	衣服・身の回り品		飲食料品		飲食店		家具・建具・什器		その他		合計	
	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比
04年07月	361	6.2	376	1.3	208	0.0	39	▲15.2	579	▲16.1	1,563	▲5.6
04年08月	270	3.8	347	3.0	223	5.2	45	▲2.2	559	▲12.0	1,444	▲3.1
04年09月	301	8.3	320	14.7	198	8.2	49	▲2.0	534	▲6.6	1,402	2.9
04年10月	368	6.1	333	2.5	212	2.4	53	▲5.4	549	▲15.0	1,515	▲4.1
04年11月	349	▲9.6	371	1.6	209	▲0.5	44	▲13.7	555	▲14.9	1,528	▲8.2
04年12月	493	1.4	537	2.9	272	0.7	46	▲14.8	778	▲10.1	2,126	▲3.3
05年01月	427	18.0	388	9.3	256	14.8	35	6.1	707	▲1.8	1,813	7.1
05年02月	275	6.2	340	▲8.1	204	29.9	34	6.3	498	▲8.1	1,351	▲0.6
05年03月	355	▲12.6	363	▲1.9	237	3.0	51	30.8	664	2.0	1,670	▲1.5
05年04月	326	▲7.9	329	0.0	212	5.0	48	20.0	589	▲20.6	1,504	▲9.8
05年05月	309	▲6.9	342	4.0	207	▲3.3	38	0.0	620	7.1	1,516	1.6
05年06月	132	▲60.1	311	▲10.9	184	▲6.1	44	12.8	540	6.3	1,211	▲14.9
05年07月	338	▲6.4	395	5.1	204	▲1.9	41	5.1	623	7.6	1,601	2.4

*資料出所 苫小牧商工会議所調査月報 *大型店-売り場面積が1,500㎡以上の小売店の内、令和4年3月から市内2店舗を対象。

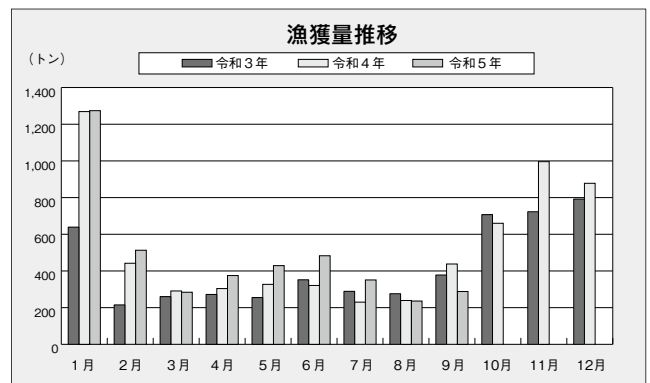
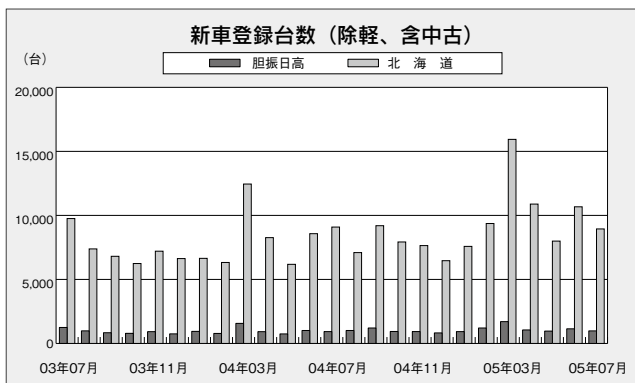


② 新車登録台数

(単位：台・%)

	新車登録台数 (除軽)										苫小牧市軽自動車新規登録台数	
	胆振日高 (室支局管内)						北海道		全国		新規登録台数	前年比
	小型乗用	前年比	その他	前年比	合計	前年比	前年比	前年比				
04年07月	258	▲36.6	668	▲20.6	926	▲25.8	9,089	▲6.8	214,134	▲13.4	527	▲10.4
04年08月	347	2.1	665	3.3	1,012	2.8	7,096	▲3.9	179,075	▲13.3	524	▲4.9
04年09月	415	62.7	792	35.8	1,207	44.0	9,196	35.1	242,042	17.8	637	13.5
04年10月	392	45.2	543	4.6	935	18.5	7,925	27.0	211,542	19.7	566	6.8
04年11月	359	2.3	570	▲0.2	929	0.8	7,643	6.1	221,541	1.0	574	22.1
04年12月	255	▲1.2	568	15.7	823	9.9	6,463	▲2.5	209,090	▲4.4	477	10.2
05年01月	265	▲17.2	660	5.9	925	▲1.9	7,580	14.1	229,497	10.8	476	20.8
05年02月	345	12.0	862	81.9	1,207	54.3	9,367	48.1	269,837	26.3	497	9.2
05年03月	502	15.4	1,203	6.3	1,705	8.8	15,938	28.0	378,557	15.7	487	▲16.8
05年04月	360	12.1	695	15.8	1,055	14.5	10,884	31.7	219,987	23.1	643	14.2
05年05月	331	28.8	634	29.9	965	29.5	7,993	29.4	206,663	28.1	519	▲2.3
05年06月	343	▲1.2	801	20.5	1,144	13.0	10,672	24.5	259,794	31.5	482	▲19.7
05年07月	260	0.8	721	7.9	981	5.9	8,943	▲1.6	253,241	18.3	465	▲11.8

資料出所 … 苫小牧商工会議所調査月報・経済産業局・自販連



【商業関連情報—卸売市場・物価・漁獲】

苫小牧市管内漁獲高動向概算値（令和5年7月～9月）

（数量：トン、金額：千円、増減 - 比：％）

数量上位	数量	前年比増減	順位	金額上位	金額	前年比増減
かれい	287	55.1	1	かに	153,056	8.6
ほっき貝	198	▲11.7	2	ほっき貝	115,734	▲3.7
たこ	111	273.2	3	たこ	69,797	156.1
その他魚類	83	124.9	4	かれい	60,253	59.2
つぶ	64	▲19.8	5	うに	33,888	▲12.9
05年7月～9月合計	876	▲3.5		05年7月～9月合計	516,099	▲15.1
05年1月～9月累計	4,234	9.6		05年1月～9月累計	1,257,001	9.2

苫小牧市公設地方卸売市場取扱実績（令和5年7月～9月）

（単位：数量-トン、金額-千円、比-％）

	水産物計	前年比	果実	前年比	蔬菜	前年比	青果計	前年比	
05年7月～9月	数量	2,395	11.0	1,111	▲0.1	1,445	▲9.1	2,556	▲5.4
	金額	2,258,115	▲17.0	564,582	10.8	342,423	▲4.4	907,889	4.5
05年4月～05年9月累計	数量	4,993	14.7	1,637	▲2.4	2,581	▲5.7	4,218	▲4.5
	金額	4,017,017	▲7.3	846,829	5.2	642,733	▲8.9	1,490,670	▲1.4

* 苫小牧市公設地方卸売市場資料より当金庫が作成

苫小牧市生活必需品価格動向、平均価格対前月上昇・下降上位5品（令和5年9月10日調べ）

（単位：円・％）

前月上昇品	9月平均価格	対前月変動率	前年同月平均価格	順位	前月比下降品	9月平均価格	対前月変動率	前年同月平均価格
レタス	77.5	92.3	58.5	1	えび	189.0	▲26.5	170.7
ほうれん草	196.0	85.6	127.9	2	生そば	100.0	▲23.1	120.6
きゃべつ	24.0	55.8	17.3	3	納豆	89.4	▲13.4	102.6
きゅうり	74.5	55.2	60.2	4	リンゴ	84.8	▲11.9	67.6
たけのこ	231.6	47.1	180.0	5	長ねぎ	82.9	▲11.7	79.0

* 生鮮品は100gあたり、生そばはゆでていないもの100g、納豆は150g程度・3個パック

苫小牧市燃料価格動向（令和5年9月）

（単位：円・％）

品名	単位	8月価格	9月価格	前月上昇率	（高値～安値）	前年9月平均価格
家庭用灯油	1リットル	115.53	124.82	8.0	129.00～113.00	117.63
プロパンガス	10.0m ³	10,738.70	10,738.70	0.0	12,705.00～8,690.00	10,651.70
ガソリン（フル）	1リットル	178.00	186.14	4.6	189.00～184.00	158.43
ガソリン（セルフ）	1リットル	174.84	183.04	4.7	185.00～181.80	154.34

* 家庭用灯油…ホームタンク配達料込み、プロパンガス…体積買（10.0m³）、ガソリン…レギュラー

* 以上2表苫小牧市生活必需品価格動向表（苫小牧市市民生活部市民生活課）より当金庫が作成

5. 不動産の状況

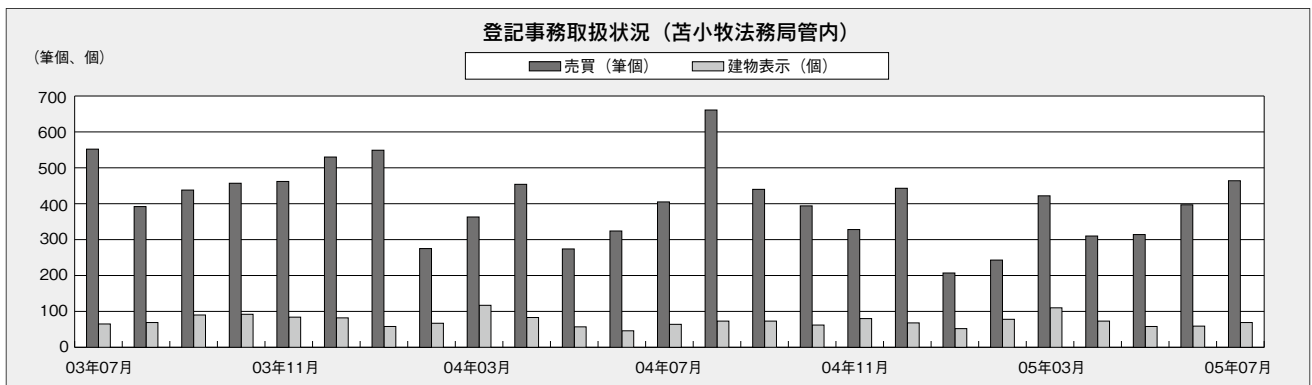
登記事務取扱状況

	売買 （筆個）	前年比 （％）	建物表示 （個）	前年比 （％）	国土法届出件数 （件）	前年差 （件）
04年07月	405	▲26.6	64	▲1.5	8	2
04年08月	661	68.6	73	5.8	3	▲2
04年09月	440	0.5	73	▲18.9	2	▲1
04年10月	394	▲13.8	62	▲32.6	2	▲2
04年11月	328	▲29.0	80	▲4.8	3	2
04年12月	443	▲16.4	68	▲17.1	4	4
05年01月	207	▲62.3	52	▲10.3	1	▲2
05年02月	243	▲11.6	78	16.4	3	▲1
05年03月	422	16.3	110	▲6.0	7	1
05年04月	310	▲31.7	73	▲12.0	5	1
05年05月	314	14.6	58	1.8	4	2
05年06月	397	22.5	59	28.3	3	0
05年07月	464	14.6	69	7.8	3	▲5

資料出所 … 売買・建物表示—苫小牧商工会議所調査月報（法務局苫小牧支局）

国土法届出—苫小牧商工会議所調査月報（苫小牧市都市建設部）

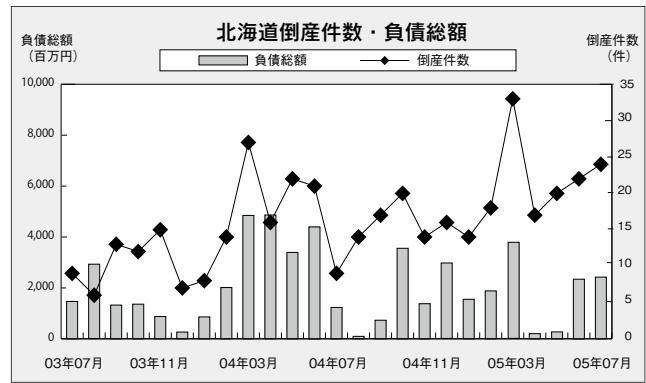
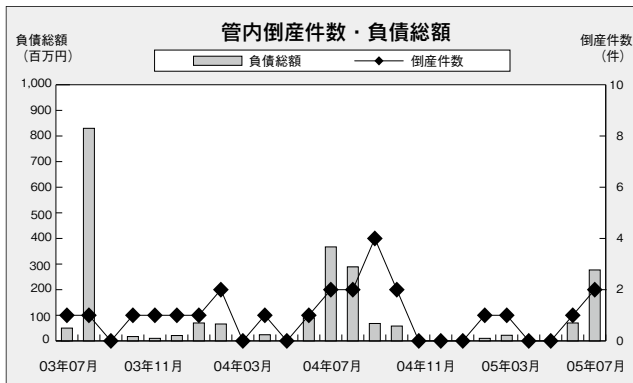
* 法務局苫小牧支局管内 … 苫小牧市、白老町、厚真町、安平町、むかわ町



6. 企業倒産状況

	管内				北海道			
	倒産件数 (件)	前年差 (件)	負債総額 (百万円)	前年比 (%)	倒産件数	前年比 (%)	負債総額 (百万円)	前年比 (%)
04年07月	2	1	367	634.0	9	0.0	1,233	▲ 16.1
04年08月	2	1	289	▲ 65.2	14	133.3	97	▲ 96.7
04年09月	4	4	68	—	17	30.8	731	▲ 44.9
04年10月	2	1	58	241.2	20	66.7	3,557	161.2
04年11月	0	▲ 1	0	▲ 100.0	14	▲ 6.7	1,379	57.4
04年12月	0	▲ 1	0	▲ 100.0	16	128.6	2,964	1,014.3
05年01月	0	▲ 1	0	▲ 100.0	14	75.0	1,553	80.2
05年02月	1	▲ 1	10	▲ 84.8	18	28.6	1,883	▲ 6.6
05年03月	1	1	22	—	33	22.2	3,775	▲ 22.1
05年04月	0	▲ 1	0	▲ 100.0	17	6.3	204	▲ 95.8
05年05月	0	0	0	—	20	▲ 9.1	272	▲ 92.0
05年06月	1	0	70	▲ 22.2	22	4.8	2,348	▲ 46.6
05年07月	2	0	277	▲ 24.5	24	166.7	2,425	96.7

* 資料出所 … 苫小牧商工会議所
 * 管内 … 胆振東部、日高西部
 * 管内の計数は法的整理のみ、任意整理は含まず

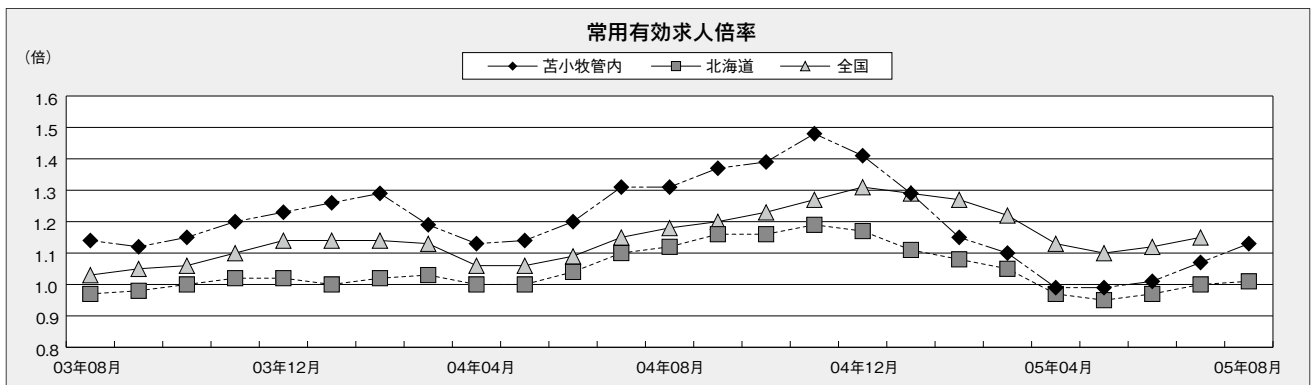


7. 雇用状況

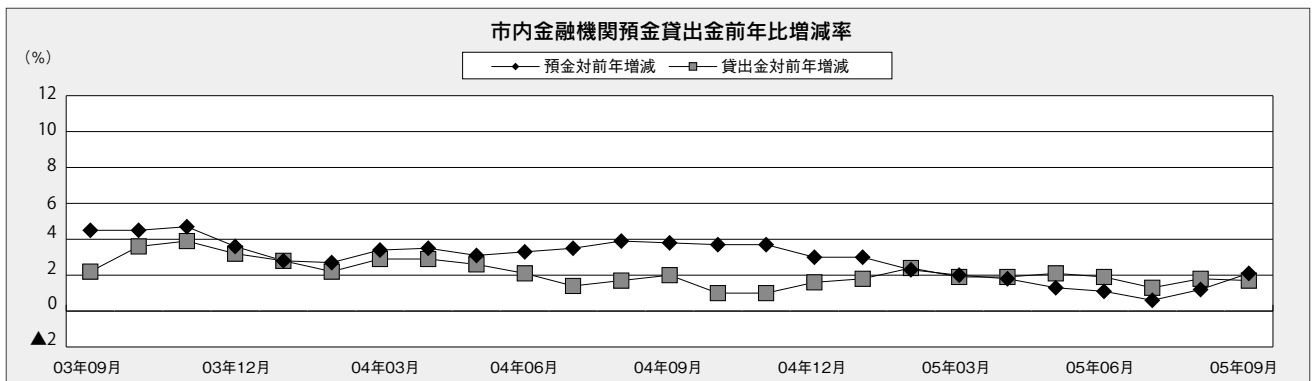
単位：%

	有効求人倍率			完全失業率	
	苫小牧管内	北海道	全国	北海道	全国
04年08月	1.31	1.12	1.18	3.1	2.6
04年09月	1.37	1.16	1.20		2.7
04年10月	1.39	1.16	1.23		2.6
04年11月	1.48	1.19	1.27	2.7	2.4
04年12月	1.41	1.17	1.31		2.3
05年01月	1.29	1.11	1.29	2.6	2.4
05年02月	1.15	1.08	1.27		2.5
05年03月	1.10	1.05	1.22		2.8
05年04月	0.99	0.97	1.13		2.7
05年05月	0.99	0.95	1.10	3.2	2.7
05年06月	1.01	0.97	1.12		2.6
05年07月	1.07	1.00	1.15		2.6
05年08月	1.13	1.01			

* 資料出所 … 苫小牧公共職業安定所「業務概要」より



8. 金融の状況



苫小牧市内預金・貸出金残高

単位：百万円・%

単位：百万円・%

	預金残高	前年比
04年09月	862,107	3.8
04年10月	872,583	3.7
04年11月	870,411	3.7
04年12月	875,329	3.0
05年01月	863,936	3.0
05年02月	861,619	2.3
05年03月	845,310	2.0
05年04月	873,097	1.8
05年05月	868,181	1.3
05年06月	872,062	1.1
05年07月	868,014	0.6
05年08月	880,655	1.2
05年09月	880,205	2.1

	貸出金残高	前年比
04年09月	466,138	2.0
04年10月	468,120	1.0
04年11月	469,339	1.0
04年12月	475,458	1.6
05年01月	471,930	1.8
05年02月	471,785	2.4
05年03月	473,927	1.9
05年04月	475,976	1.9
05年05月	473,868	2.1
05年06月	475,041	1.9
05年07月	474,963	1.3
05年08月	475,344	1.8
05年09月	474,110	1.7

*資料出所 … 苫小牧金融協会

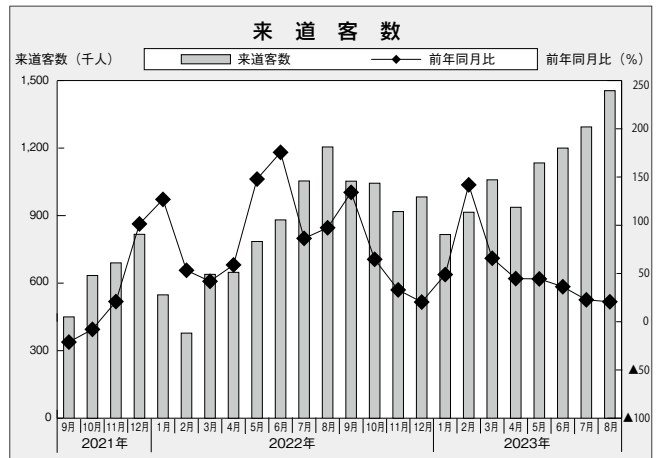
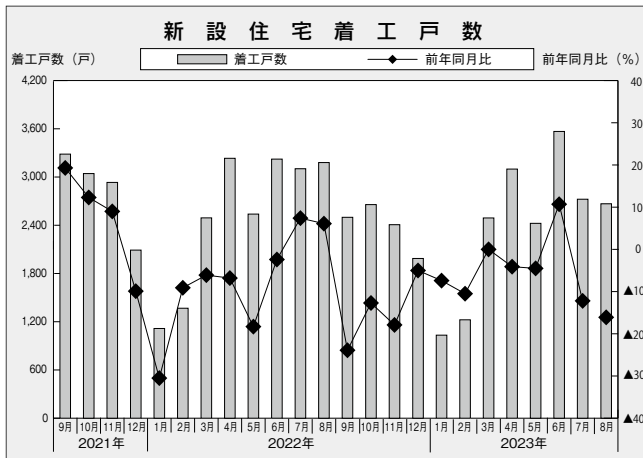
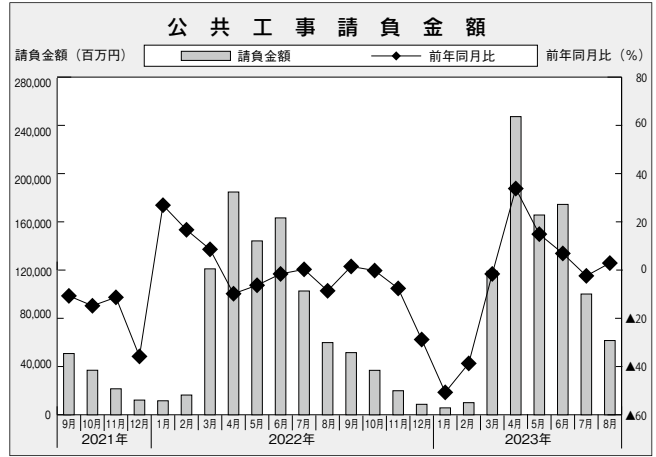
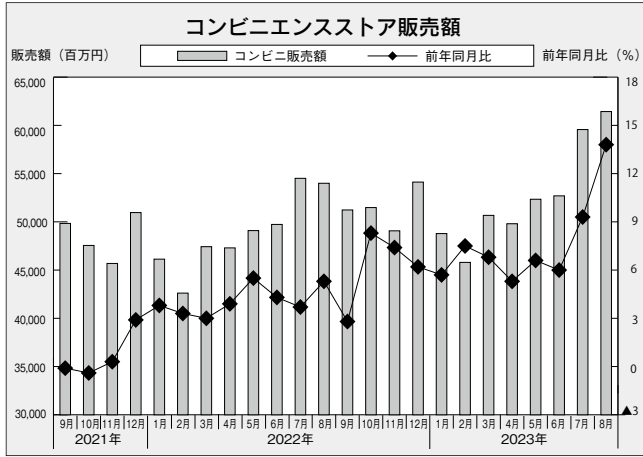
9. 管内の人口・世帯数 (令和5年9月末)

単位：人

市 町	人 口		世 帯 数	
	人 口	前 年 差	世 帯	前 年 差
管内合計	341,329	▲ 2,462	185,667	752
市部計	265,158	▲ 1,147	143,244	860
苫小牧市	167,143	▲ 1,497	91,063	85
千歳市	98,015	350	52,181	775
郡部計	76,171	▲ 1,315	42,423	▲ 108
白老町	15,509	▲ 252	9,265	▲ 31
厚真町	4,320	▲ 93	2,125	▲ 25
安平町	7,310	▲ 30	4,005	17
むかわ町	7,437	▲ 177	4,091	▲ 24
日高町	11,155	▲ 239	6,286	▲ 17
平取町	4,596	▲ 27	2,454	25
新冠町	5,173	▲ 33	2,819	44
新ひだか町	20,671	▲ 464	11,378	▲ 97

北海道の主要経済指標

出典：経済産業省 北海道経済産業局 管内経済概況 主要経済指標



北海道の主要経済指標	コンビニ販売額		公共工事請負額		新設住宅着工戸数		来道客数		
	販売額 (百万円)	前年同月比	請負額 (百万円)	前年同月比	着工戸数 (戸)	前年同月比	来道客数 (千人)	前年同月比	
2021年	9月	49,837	▲ 0.1	50,782	▲ 10.7	3,285	19.3	450	▲ 21.1
	10月	47,553	▲ 0.4	36,933	▲ 14.8	3,043	12.3	634	▲ 7.9
	11月	45,687	0.3	21,550	▲ 11.3	2,933	9.0	690	20.9
	12月	50,960	2.9	12,185	▲ 35.8	2,091	▲ 9.9	817	101.4
2022年	1月	46,133	3.8	11,609	26.9	1,116	▲ 30.5	548	126.8
	2月	42,612	3.3	16,366	16.7	1,368	▲ 9.1	378	53.3
	3月	47,424	3.0	121,013	8.6	2,492	▲ 6.1	639	41.9
	4月	47,300	3.9	184,734	▲ 9.8	3,233	▲ 6.8	648	58.9
	5月	49,093	5.5	144,186	▲ 6.3	2,539	▲ 18.3	785	147.9
	6月	49,732	4.3	163,257	▲ 1.6	3,223	▲ 2.4	881	175.6
	7月	54,511	3.7	102,650	0.3	3,103	7.4	1,054	86.4
	8月	53,998	5.3	59,855	▲ 8.6	3,180	6.1	1,205	97.4
	9月	51,231	2.8	51,534	1.5	2,499	▲ 23.9	1,053	134.1
	10月	51,478	8.3	36,857	▲ 0.2	2,657	▲ 12.7	1,044	64.7
	11月	49,069	7.4	19,921	▲ 7.6	2,407	▲ 17.9	918	33.0
	12月	54,122	6.2	8,682	▲ 28.8	1,987	▲ 5.0	983	20.4
2023年	1月	48,782	5.7	5,726	▲ 50.7	1,033	▲ 7.4	816	48.9
	2月	45,798	7.5	10,031	▲ 38.7	1,224	▲ 10.5	915	141.9
	3月	50,671	6.8	119,060	▲ 1.6	2,491	0.0	1,059	65.8
	4月	49,802	5.3	247,252	33.8	3,099	▲ 4.1	937	44.7
	5月	52,342	6.6	165,658	14.9	2,424	▲ 4.5	1,134	44.4
	6月	52,694	6.0	174,462	6.9	3,567	10.7	1,200	36.3
	7月	59,567	9.3	100,138	▲ 2.4	2,724	▲ 12.2	1,294	22.7
	8月	61,432	13.8	61,565	2.9	2,667	▲ 16.1	1,455	20.7

今号の特集は、信金中央金庫 地域・中小企業研究所発行の金利・為替見通し No.2023-7（2023年10月3日発行）より、国内経済・金融情勢について抜粋転載してご紹介いたします。

1. 国内景気は経済活動の正常化で回復も、根強い物価高や海外経済の減速が懸念

◆4～6月の実質GDP（2次速報）は前期比1.2%増(年率4.8%増)に下方修正。内需が下振れ

4～6月の実質GDP(2次速報)は前期比1.2%増(年率4.8%増)となり、1次速報の同1.5%増(年率6.0%増)から下方修正された。設備投資が1次速報の横ばいから2次速報は同1.0%減に落ち込んだうえ、個人消費は同0.5%減から同0.6%減へマイナス幅が拡大した。また、公共投資は同1.2%増から同0.2%増にプラス幅が縮小している。寄与度は、民間需要が1次速報と比べて0.2ポイント、公的需要が0.1ポイント低下しており、実質GDP成長率は内需の下振れを反映した形で下方修正された。

足元の国内経済を景気動向指数からみると、8月の一致C Iは、輸出等が悪化したものの、耐久消費財出荷等が前月より改善したため、小幅な上昇が見込まれる。基調判断は「改善」に据え置かれよう。先行C Iは、消費者態度指数や中小企業売上げ見通し等が悪化した一方、新規求人数や在庫率等が改善したため、上昇すると予想する。ただ、先行き、根強い物価高、米欧の金融引締めや中国の景気悪化などの影響による海外経済の減速には留意を要する。

◆企業の景況感は、製造業が2四半期連続で改善し、非製造業は約32年ぶりの高水準

8月の実質輸出は前月比6.1%減で3か月ぶりのマイナスとなった。半導体製造装置等の対中輸出規制の強化などが影響した中国向けなど、総じて低調であった。一方、鉱工業生産は、生産設備の定期修理が終了したガソリンを含む石油・石炭製品、自動車用照明等の電気・情報通信機械などが増加したものの、システムトラブルや台風等の影響を受けた自動車などが減少し、前月比横ばいとなった。基調判断は「一進一退」に据え置かれている。9月は、経済産業省による製造工業生産予測指数の補正值で同3.7%増と試算されている。先行き、供給制約の緩和に伴う自動車などの挽回生産が下支えすると見込まれるが、米欧の金融引締め、中国の景気減速や対中関係の悪化などの影響が生産活動の重荷になる恐れがある。

企業の景況感を日銀「短観」からみると、9月調査の大企業製造業の業況判断D Iは+9で前回より4ポイント改善した。供給制約の緩和で自動車、原材料高の一服で素材業種などの上昇が大きかった。大企業非製造業は+27で前回より4ポイント上昇した。インバウンド需要の拡大などで宿泊・飲食サービスや小売、燃料費の下落で電気・ガスなどが改善した。製造業は2四半期連続で上昇し、非製造業は約32年ぶりの高水準になるなど、景況感は回復している。ただ、大企業非製造業の先行きD Iは+21で6ポイントの低下が見込まれており、経済活動の再開に伴う改善効果が一服する恐れがある。

◆23年度の設備投資計画は堅調だが、投資先送りの恐れも

4～6月の実質設備投資(GDP2次速報)は前期比1.0%減になり、1次速報の横ばいから下方修正された。前期の増加(同1.6%増)の反動の側面があるが、7月の国内向け資本財出荷(除く輸送機械)は4～6月平均を3.3%下回るなど、回復基調がやや一服している。

設備投資の先行指標である機械受注(船舶・電力を除く民需)、7月は前月比1.1%減で、基調判断は9カ月連続の「足踏みがみられる」となった。非製造業(除く船舶・電力)は同1.3%増加したが、製造業が同5.3%減少したことが響いた。3か月移動平均でも同2.1%減少しており、弱含んでいる。一方、日銀「短観」による23年度の設備投資計画(全規模・全産業)は前年度比13.0%増と高い伸び率を維持しており、6月調査(11.8%)を上回った。先行き、経済活動の正常化に伴う設備投資意欲の高まりや省力化・DX・環境投資などが下支えして堅調な推移が期待できる。ただ、IT関連需要低迷の長期化や海外の景気減速などを反映し、投資が先送りされる恐れがある。

◆個人消費は緩やかに回復も、物価高騰による消費者マインドの改善一服が懸念

7月の1世帯当たりの実質消費支出(二人以上の世帯)は、前月比2.7%減少した。前年比は設備修繕・維持などが押し下げて5.0%減少しており、世帯でみると弱含んでいる。一方、日銀の実質消費活動指数(旅行収支調整済)は、前月比0.6%増加した。節約志向の高まりなどで支出が抑制されてきた非耐久財が同1.6%増と押し上げに寄与し、耐久財は同0.6%増で4か月連続のプラスになった。ただ、サービスは同0.3%減で足踏みしている。

8月は、小売業販売額が前月比0.1%増加した。価格上昇で燃料・飲食料品等の購入額が上振れしたうえ、猛暑や外出の増加などで盛夏商材・化粧品などが堅調だった。ただ、9月の消費者態度指数は2か月連続で低下した。基調判断は「改善に向けた動きに足踏みがみられる」に引き下げられており、消費者マインドの改善一服が懸念される。一方、8月の訪日外客数は216万人で、コロナ前(19年同月)の85.6%に回復した。8月に訪日団体旅行を解禁した中国は、同36.4%で前月の29.8%から上昇している。全国百貨店のインバウンド売上高は、円安も寄与して19年同月比24.1%増と好調である。

◆先行き、個人消費が緩やかに回復するものの、海外経済の減速などの影響が懸念

国内景気は、物価高による消費者の生活防衛意識の強まりが懸念される一方、外出・移動の活発化、企業の業況改善による賃上げ機運の高まり、コロナ禍で積み上がった貯蓄やペントアップ(繰越)需要などが個人消費を下支えし、緩やかなペースながら回復基調で推移しよう。

また、生産活動は、供給制約の緩和による挽回生産が下支えして底堅い推移が見込まれる。ただ、米欧の金融引締めや中国の景気悪化などの影響による海外経済の減速が下振れリスクになろう。

2. 日銀は現状の金融緩和策を継続も、市場では政策修正観測が根強い

◆日銀は現状の金融緩和を継続も、市場では政策修正観測が根強い

日銀は、9月21～22日の金融政策決定会合で現状の金融緩和策の維持を決定した。長短金利操作(YCC：イールドカーブ・コントロール)について、短期政策金利は▲0.1%のマイナス金利を適用し、長期金利(10年物国債金利)はゼロ%程度で推移させる方針を据え置いた。YCCの運用も、長期金利の変動幅は「±0.5%程度」を目途としてより柔軟に対応し、上限1.0%を継続する。

植田日銀総裁は、9月9日のインタビュー記事で、賃金上昇を伴う持続的な物価上昇に確信が持てた段階になれば、マイナス金利政策の解除を含め「いろいろなオプションがある」、賃金と物価の好循環を見極めるのに「年末までに十分な情報やデータがそろそろ可能性はゼロではない」と述べ、市場で早期のマイナス金利解除観測が高まった。しかし、植田総裁は会合後の記者会見で、「政策修正時期の決め打ちは到底できない」と述べるなど早期の政策修正観測をけん制した。ただ、円安進行や物価の上振れなどを背景に、市場では早晩、日銀が金融政策の正常化に向けて政策修正に動くとの思惑は根強い。

◆8月の消費者物価(除く生鮮食品)の前年比上昇率は3.1%で前月と変わらず

8月の国内企業物価の前年比上昇率は3.2%で、前月の3.4%から減速した。上昇率は8か月連続で縮小している。前月比は0.3%上昇しており、事業用電力・都市ガス等は低下したが、価格激変緩和措置の補助金減額でガソリン・軽油等が押し下げている。また、輸入物価は前年比11.8%低下したが、円安が寄与してマイナス幅は縮小した。ただ、契約通貨ベースの前月比は0.9%低下しており、液化天然ガス・一般炭や鉄鉱石・アルミニウム地金等が押し下げた。

8月の消費者物価の前年比上昇率は、生鮮食品を除く総合で3.1%と17か月連続で2.0%を超えた。電気・ガスは下落幅が拡大したが、ガソリンの上昇率が加速し、伸び率は前月から横ばいとなった。生鮮食品・エネルギーを除く総合も4.3%で前月と変わらず高止まりしている。先行き、輸入物価の低下の効果が徐々に波及する一方、円安進行、原油価格の上昇や価格転嫁の動きなどを背景に、インフレ圧力は根強く、物価の上振れには留意を要する。

◆日銀は、当面、粘り強く金融緩和を継続へ

日銀は、賃金上昇を伴う形での持続的・安定的な物価上昇を目指している。7月の実質賃金は前年比2.7%減となり、下落率が前月の1.6%から拡大した。名目賃金は同1.1%増加したものの、前月の伸び率(2.3%)を下回る。安定的に推移する共通事業所の所定内給与(一般労働者)は、実質化すると同1.5%減でマイナス幅は縮小したが、購買力の低下が続いている。

GDPデフレーターが上昇し、需給ギャップも改善するなど、デフレ脱却の条件が整ってきたが、植田総裁は「物価目標の持続的・安定的な達成には距離がある」旨の発言をしている。内需は力強さを欠き、日銀は国内経済を下支えする必要があるため、当面、粘り強く金融緩和を継続するものと見込まれる。

以上

本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。したがって投資等についてはご自身の判断によることとなります。また、本レポート掲載資料は、当研究所が信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当研究所が正確性および完全性を保証するものではありません。

なお、記述されている予測または執筆者の見解は、予告なしに変更することがありますのでご注意ください。

お取引先企業のご紹介コーナー

当金庫のお取引先企業様を紹介する「誌上ビジネスマッチング」のコーナーです。
是非、皆様の**販路拡大**や**ビジネスのご連携**にお役立て下さい。
お問合せは、当金庫または直接下記掲載企業様へご連絡下さい。

プレイス動物病院

〒053-0046

苫小牧市住吉町1丁目8番9号

2023年10月から、苫小牧市住吉町で開業いたしました。

院長の所は市内の動物病院で19年間勤務していました。その経験を活かしながら地域のかかり付けの動物病院として、気軽に受診して頂ける病院を目指しています。

また、酪農大で10年間眼科の研究生として活動し、原著論文も執筆しています。眼科に関しては今後機械を導入し、より高度な診療が出来るよう力を入れていきます。



<診療対象動物>

猫と小～中型犬の診療

【連絡先】 TEL : 0144-77-0014 FAX :
E-mail : place.ah.r5@gmail.com
院長 : 所 輝久 様

HP : <https://place-ah.amebaownd.com>

株式会社 灯泉房 自然喰処 灯泉房 (とうせんぼう)

〒054-0023

勇払郡むかわ町末広1丁目70番地2

地産地消に拘り、30年以上むかわ町産の食材を主体とした料理の提供を行っているレストランです。

名物はむかわ町で水揚げされた本ししゃものみを使用した「ししゃも寿司」や、出荷量の少ない町内産和牛「むかわ牛」を使用したステーキやハンバーグです。そのほかにも地元産食材を使った定食メニューも取り扱っており、夜営業時には道産の地酒等も楽しめます。

テイクアウトもできますので、町内にお越しの際は是非お立ち寄りください。



<主要取扱商品>

- レストラン：町内産食材（本ししゃも、むかわ牛、レタス等の野菜）を主体とした料理
- テイクアウト：定食メニュー

【連絡先】 TEL : 0145-42-5417 FAX :



代表 : 木村 英雄 様

最近の管内のトピックス –新聞報道より–

※苦小牧市内23年度基準地価 2年連続の上昇 住宅 東部需要が全域押し上げ

道は20日、2023年度基準地価（7月1日時点）を発表し、苦小牧市内の平均変動率は住宅地が前年度比1.5%増、商業地が同1.8%増だった。いずれも2年連続の上昇で、増加幅も住宅地は1.4%、商業地は1.5%それぞれ拡大。道は「商業施設などが集積する東部地区で需要が堅調」と分析している。

調査地点は、住宅地が16地点、商業地が4地点、工業地が1地点の計21地点。1平方メートル当たりの平均価格は、住宅地が500円増の2万400円、商業地が600円増の3万5500円、工業地が600円増の1万4600円。全用途では、平均変動率が1.7%増、平均価格が500円増の2万3000円だった。

住宅地は、上昇が7地点、横ばいが8地点、下落が1地点。上昇は、去年は東部地区に限られたが、今年は東部2地区、中心部2地区、西部3地区。最高値は「三光町3の20」の4万2000円で5%増。上昇幅の最大は「明野新町1の17」の6.7%増で4万円。昨年引き続き東部地域の需要増が全体を押し上げ、中心部、西部地区の需要回復につながる構図だ。

商業地は、上昇が1地点、下落が3地点。前年から伸びたのは東部地区の「拓勇東町4の2」で、10.5%増の4万2000円となり、胆振管内の商業地としても唯一の上昇。最高値の「木場町1の10」は昨年と同様胆振管内トップだが、1.7%減の4万5000円。「表町4の2」は1%減の2万9800円で3万円を下回るなど、中心市街地は活性化がままならない現状を反映するように下落した。－後略－

（9月20日苦小牧民報社より－以下同じ）

※苦小牧工水を水源候補地に 鈴木知事が正式表明 ラピダス量産時送水設備を建設 27年完成目指す

千歳市の工業団地「千歳美々ワールド」に次世代半導体工場を建設中のラピダス（東京）が2027年の本格稼働時に使用する工業用水について、鈴木直道知事は4日、「有識者懇話会の検討結果も踏まえ、苦小牧工水（苦小牧地区工業用水道第2施設＝安平川が水源）を水源候補地として決定した」と正式に表明した。－中略－

知事は、自身が本部長を務める「北海道次世代半導体産業立地推進本部会議」を5日に開催し、「給水区域の関係機関への丁寧な説明はもとより、ラピダス社や千歳市、国などと具体的な協議を迅速に進めるよう庁内関係部局に必要な指示を行っていく」との方針を示した。

また、苦小牧工水の整備概要について「工場に水を供給する約22kmの送水管、送水ポンプ場の建設を想定し、事業費として170億円から200億円と試算している」と明かした。

工業用水の利用については、「従来は道企業局が送水管等を整備し、要した費用の全部をユーザーから分担金として徴収するか、ユーザー自らが負担の上で整備し、完成後に企業局へ無償譲渡している」と説明。道としては年内をめどに概算事業費などを精査し「ユーザーとなるラピダス社と協議を進めるとともに、国に対してあらゆる機会を捉えて財政支援を求めるなど、財源について必要な調整を行っていく」との姿勢を示した。－後略－

（10月5日）

※苦小牧に国内最大級DC 26年度稼働目指す 再エネを活用 ソフトバンク

通信大手のソフトバンク（東京）が苦小牧市に国内最大級のデータセンター（DC）を建設する方針であることが19日、分かった。建設費は400億～600億円を見込み、経済産業省に補助金を申請した。認められれば半額が助成される。2026年度の稼働を目指す。

同社は国内13カ所でDCを展開しており、東京や大阪など都市部に多く立地している。生成AI（人工知能）の急速な普及により、電力消費の集中が懸念されており、地方への分散を図る考えだ。

東京圏、大阪圏に8割以上が集中するDCに対して経産省も今年6月、大規模災害に備えるリスク分散の観点から、整備費用の補助地域に北海道と九州を挙げ、最大で費用の半額を補助する方針を示していた。同社はこれまで本道で考えられるDCについて、再生可能エネルギーを活用した「グリーンDC構想」、電力容量は世界最大級の300MWの想定と示してきた。再エネを活用した拠点となる見通しで、広大な土地がある苦小牧東部産業地域（苦東地域）の臨空柏原地区に建設する模様だ。

－後略－

（10月20日）

とましん結婚相談所「LLB会」

とましん結婚相談所「LLB会」事務局

苫小牧市表町3丁目1番6号

苫小牧信用金庫本店7階

電話 0144-56-5026

【平日 9:00~17:30】

お気軽に、お問い合わせください！



■活動実績

(令和5年9月30日現在)

入会者数	男性	375名
	女性	379名
	合計	754名

お見合回数 856回

結婚又は婚約中 68組

子供の誕生 19名

■会員資格

1. 苫小牧信用金庫の営業地域にお住まいの方
 2. 法的にも実生活上においても独身の方
 3. 結婚したいという明確な意思のある方
 4. 反社会的勢力でないこと
- ※ 会員の有効期間は入会日より3年間です
(希望により延長も可能です)

■入会にあたりご提出いただくもの

1. 申込書類
(当会所定の入会申込書、プロフィール、誓約書)
2. 戸籍謄本または独身証明書
3. 最終学歴の卒業証書(任意)
4. 収入証明書(源泉徴収票など)
5. 申込書貼付用顔写真1枚(縦横5cm程度)
6. お相手へのご紹介用写真2カット
(L判サイズ、1枚は全身が写っているもの)
7. 入会預り金 10,000円
(退会時には全額返却いたします)

■LLB会のシステム

1. 申込書に記載された「お相手の希望」に沿った方の「プロフィール及び写真」を見ていただけます。
2. お会いしてみたい方がいた場合、事務局よりお相手の方に連絡し了解がとれれば、お見合いをしていただけます。(お見合い会場は苫小牧信用金庫本店内)
3. お見合い後に、交際希望の有無を確認させていただきます。
4. 双方が交際を希望した場合、3か月の交際期間を設けます。交際期間の中で「結婚を前提に交際を継続」または「交際を辞退」の結論を出していただけます。

とましん景況レポート No.156

令和5年11月発行

発行/苫小牧信用金庫 編集/業務企画部

〒053-8654 苫小牧市表町3丁目1番6号

TEL(0144)31-2145 FAX(0144)31-2341

※本レポートは調査時点における情報提供を目的としています。
したがって投資等についてはご自身の判断によってください。
また、本レポート掲載資料は、当金庫が信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当金庫が正確性および完全性を保証するものではありません。